

ムトス飯田まちづくり 活動報告集



第36回ムトス飯田賞
「NPO法人 七和の会」



第36回ムトス飯田賞
「あぐりの田んぼ学校」



ムトス飯田

令和2年度

ムトス飯田推進委員会

「ムトス」とは、広辞苑などにも載っている言葉「むとす」を引用したもので、「…しようとする」という意味が込められており、行動への意志や意欲を表す言葉です。

飯田市は、昭和57年3月に市が作成した「10万都市構想」において、理想とする都市像の実現に向けての行動理念・合言葉として「ムトス」を使用しました。

飯田市自治基本条例（平成19年4月1日施行）にも、まちづくりに進んで参加するムトスの精神について謳われております。「ムトス」を地域づくりの合言葉にして、私たち一人ひとりの心の中にある「地域を愛する想い、自分ができることからやってみよう」とする自発的な意志や意欲、具体的な行動をあらわし、住みよいまちづくりをめざしています。

ムトス飯田表彰事業は、「ムトス飯田の精神を広めるために役立ててください」という一市民の寄付が契機となり、昭和60年度に創設されました。以来、「ムトスの精神」が際立ち、飯田の将来に向けて示唆的で主張ある活動をしている団体・個人を表彰してきました。この賞には、受賞者のムトスの活動をたたえ励ます気持ちと、受賞者の生き生きとした活動の姿が、私たち一人ひとりの秘めているムトスと呼び起こし、市民活動が発展していくことへの「期待」が込められています。ムトス飯田賞は、創設から今回の第36回までに、75団体と2個人に授与され表彰されております。

ムトス助成事業は、平成3年度からふるさと創生の1億円を基金として、公益的な地域づくり活動を支援するために、独創的で波及効果のある地域づくりの活動に対して助成事業を開始しました。毎年、団体・個人からの助成金申請に対して、会長（飯田市長）と各分野で活動する市民でつくる「ムトス飯田推進委員会」が審査し、ムトスの精神にふさわしい団体等に助成をしています。令和元年度までに571の団体・個人の活動を支援してきました。

飯田市のまちづくりは、多様な主体の協働により、団体や個人、NPO・NGO、各地区のまちづくり委員会などに支えられています。今は新型コロナウイルス感染症の影響で先が見えにくい状況ですが、リニア新時代へ向けて市民協働の広がりへの期待が大きくなってきています。市民を軸に、多様な主体が地域で連携して取り組む「結い」が、今後の飯田市のまちづくりには大変重要になります。

ムトス飯田推進委員会では、市民の皆様の活動状況を広く情報提供して、今後のまちづくりや協働の参考にしていただくよう、ムトス飯田に関係する団体等を中心にした「活動報告集」を毎年発行しています。新たな繋がりや構築や連携、地域づくり活動の一助としていただければ幸いです。

この活動報告集を作成するにあたり、情報提供をいただきましたムトス飯田助成団体、歴代ムトス飯田賞受賞団体、まちづくり委員会等及びNPO法人の皆様をはじめ、ご協力いただきました方々に、深く感謝とお礼を申し上げます。

皆様のご活躍と、今後の更なるご発展を心よりご祈念申し上げます。

令和3年2月

ムトス飯田推進委員会

— 目 次 —

I 第36回 ムトス飯田賞受賞団体のご紹介	ページ
・ NPO法人 七和の会	1
・ あぐりの田んぼ学校	2

II 令和2年度 ムトス飯田助成事業 助成団体活動報告

まちづくり・地域づくり応援事業	ページ
・ NPO法人南信州クラブ	3
・ ふれあいボランティア もみじの会	5
・ フォーカス	7
・ 天龍峡篠笛愛好会	9
・ 千代地区まちづくり委員会(野池親水公園活性化事業)	11
・ 千代地区まちづくり委員会(千代の明るい未来を描く～第4次千代地区基本構想計画の策定)	13
・ 上久堅地区まちづくり委員会(上久堅地区活動記録保存事業)	15
・ 上中村獅子舞保存会	17
・ 農愉快	19
・ はなぶさ村農園	21
・ NPO法人いいだ自然エネルギーネット山法師	23
・ 大平街道を愛する会	25
・ 小野子支援隊	27
・ NPO法人もりの学校	29
・ 信州飯田蕎麦達人の会	31
・ 信州森組	33
・ 代田地区寺子屋運営委員会	35
・ 代田獅子囃子保存会	37
・ 丸山まちづくり委員会(風越山麓わくわくプロジェクト)	39
・ 猿庫の泉愛護会	41
・ 三穂地区まちづくり委員会 (「写真と文字で語る旧小笠原書院・小笠原資料館」のパンフレット作成)	43
・ 三穂地区まちづくり委員会(豊かな自然と伝統ある文化を守るため構想の策定)	45
・ しなの大和	47
・ 芸能の郷づくりの会	49
・ 天龍峡温泉観光協会	51
・ 鼎農地耕さくらぶ	53
・ 米川桃源郷プロジェクト委員会	55
多様な主体が連携する協働活動	
・ プロ野球選手を招く会・飯田市指導者協議会	57

III 市民活動団体のご紹介 (情報提供いただいた団体)

1 ムトス飯田賞 受賞団体 (受賞年度順)	ページ		
・ 伊那谷自然友の会	平成6年度	第10回受賞	59
・ 風越山を愛する会	平成8年度	第12回受賞	60
・ 飯田少年少女合唱団	平成9年度	第13回受賞	61
・ 飯田観光ガイドの会	平成12年度	第16回受賞	62
・ 飯田子ども劇場	平成13年度	第17回受賞	63
・ 朗読奉仕の会「声の輪」	平成13年度	第17回受賞	64

・ ひさかた風土舎	平成14年度	第18回受賞	65
・ 黒田人形劇保存会	平成14年度	第18回受賞	66
・ 子ども科学工作教室運営協議会	平成16年度	第20回受賞	67
・ 木沢地区活性化推進協議会	平成17年度	第21回受賞	68
・ 杵原学校応援団	平成20年度	第24回受賞	69
・ 南信州飯田 おもしろ科学工房	平成21年度	第25回受賞	70
・ 麻績の里振興委員会	平成21年度	第25回受賞	71
・ 社会医療法人栗山会 飯田病院	平成22年度	第26回受賞	72
・ 大宮通り桜保存会	平成25年度	第29回受賞	73
・ 地域ぐるみ環境ISO研究会	平成26年度	第30回受賞	74
・ 夢くらぶ	平成28年度	第32回受賞	75

2 ムトス飯田助成事業 平成30, 31年度の助成団体等 ページ

・ NPO法人 信州自然エネルギー研究会	76
・ NPO法人 緑のそよ風	77
・ 虎岩の文化財を守る会	78
・ まるやま石窯部	79
・ ひろば「おいでなんしょ」	80
・ 名古屋三菱壮年団	81
・ シャルルヴィル・メジェール市訪問ツアー実行委員会	82

3 まちづくり委員会等 ページ

・ 橋北まちづくり委員会	83
・ 橋南まちづくり委員会	84
・ 羽場まちづくり委員会	85
・ 丸山まちづくり委員会	86
・ 東野まちづくり会議	87
・ 座光寺地域自治会	88
・ 松尾地区まちづくり委員会	89
・ 下久堅地区まちづくり委員会	90
・ 上久堅地区まちづくり委員会	91
・ 千代地区まちづくり委員会	92
・ 龍江地域づくり委員会	93
・ 竜丘地域自治会	94
・ 川路まちづくり委員会	95
・ 山本地域づくり委員会	96
・ 三穂まちづくり委員会	97
・ 伊賀良まちづくり協議会	98
・ 鼎地区まちづくり委員会	99
・ 上郷地域まちづくり委員会	100
・ 南信濃まちづくり委員会	101

4 特定非営利活動法人（NPO法人） ページ

・ みんなの手	102
・ 飯伊学生防犯対策支援協会	103
・ 七和の会	104
・ 南信州バイコロジー協会	105
・ 川路グリーンカルチャー	106
・ おしゃべりサラダ	107
・ 南信州山都共同社中	108

第36回ムトス飯田賞 受賞団体

NPO 法人七和の会 ～ 住む人が 楽しく暮らす 七和の里 ～

平成 18 年に J A みなみ信州より尾林店舗の閉鎖提案があり、翌年に閉店となりました。

地区の自治会を中心に後利用の検討を進める中で、土地・建物の取得をすることを決め、管理団体として住民の出資を募って、NPO 法人を立ち上げることにしました。龍江 4 区の住民 82 人から 284 万円の出資をいただき、平成 19 年 10 月に NPO 法人を設立し、不動産の所有登記を行い、いくつもの活動を行っています。名称は「ふれあい七和館」としました。

【農産物直売所の運営】

施設取得時（H19 年）から、週 1 回（日曜日に）開店し、会員が持ち寄った農産物や加工食品、手芸品などを販売しています。年間営業日数は 50 日、年間売上額は約 200 万円です。地区内の福祉施設や企業の食堂に農産物を納品し、地区出身者を中心とした都市住民の皆様在宅配便で野菜をお届けしています。

【キノコ祭りの開催】

毎年 10 月に開催し、キノコ狩りの案内・募集を行ってきました。今年で 13 回を数え、秋の行楽シーズンの恒例行事として定着してきました。



キノコ祭りでキノコご飯・お汁を販売

【ほたる祭りへの参加】

毎年 6 月に開催し、当初は当会の主催でしたが、地区全体のお祭りにしていきたいとの意向から、平成 24 年度から 4 区自治会を中心に地区内の諸団体からなる実行委員会で運営しています。祭りの会場はふれあい七和館を使っていることから、主体的に実行委員会に関わり、人的にも協力体制を敷いています。

【よりあい処 「ほたる」の運営】

平成 27 年 12 月に地区住民の拠り所になることを願って、居酒屋を毎週土曜日限定で開店しました。理事 2 名が当番を務め、スーパーの買い出し品を中心にメニューを作成し、運営しています。月 1 回の「ほたる寄席」「ほたるスターズ演奏会」も好評で行ってきました（現在はコ

ロナ対策で休止中）。昨年からは千代の NPO 法人とも連携して納涼祭や新年行事などを行ってきました。毎週土曜日の営業には、15 人前後が来店し、地域住民の交流の場となってきています。



ほたる祭り



よりあい処 「ほたる」

- ◆ 理事長 くまがい ひでお 熊谷 秀男
- ◆ 発 足 平成 19 年
- ◆ 会 員 80 名

第36回ムトス飯田賞 受賞団体

あぐりの田んぼ学校

～ 子ども達の笑顔と未来のために ～

竜丘地区で、行政・JAの協力を得て竜丘小学校・時又保育園・竜丘保育園の子ども達と、籾蒔きから収穫・食べるまでの米作りを行っています。

平成14年、市の事業「南信州あぐり大学院」を終了した都市在住のメンバーを中心として「あぐりの風」を結成。15・16年に休耕田を「あぐりの田んぼ」と名付け地元農家と一緒に年間を通した米作りをしました。17年、あぐりの風有志が「自分達が学んだ作る体験・食べる体験・地域の知恵を学ぶ体験の大切さを地域の子供達や住民の方に伝えていく事で恩返しをできないものか」と考え、これに賛同した地元や両保育園・行政などが参加してあぐりの田んぼ学校がスタートしました。

竜丘保育園はあぐりの田んぼ、時又保育園は自園の田んぼで。21年からは竜丘小5年生のサポートも始めました。25年からはJA竜丘支所と連携し、その後JA女性部・JA理事も加わり、今年度は竜丘地域自治会事業の支援も受けています。



田んぼのいきもの観察

から配信してきました。最近、JAで活動の様子を広報誌(紙)で地区へ伝えています。取れた米で小学校では五平餅作りをJA女性部の指導で行っています。

米づくりを通じて地域や自然とのつながり、食物への関心や農家への思いを深めて、この子ども達が自らの子どもに、食や農業の大切さを伝える日が来ることを願って今後も活動して行きたいと思っています。

- ◆代表 くまがい 熊谷 いくお 伊久夫
- ◆発足 平成17年
- ◆連携組織 竜丘小学校、時又保育園、竜丘保育園、飯田市農業課、あぐりの田んぼ
みなみ信州農業協同組合竜丘支所、JAみなみ信州女性部竜丘支部



稲刈り体験

今年度は新型コロナの影響で5年生は田植えから、竜丘保育園は保護者と合同の土手草刈り、時又保育園は稲刈りまでとなってしまいました。これまでは、毎年1つの目標を立てて、1粒の籾から何粒の米が取れるのくらいのご飯が炊けるか、田んぼの水はどこから来るのか、田んぼ上と道路上の気温の違いなどを学んだり、市美術博物館四方学芸員の田んぼの生き物講座(一番人気)や市田柿の皮むき体験等行って来ました。作業は子ども達の安全安心、時間内で出来る様、子ども達のモチベーションを上げる様、教室か砂場で田植えの練習もしています。関係者の情報共有を図るため、メールマガジン「あぐりの田んぼから」を15年



田植え体験

取組名称	健康体操教室・サロン付買物弱者支援無料バス運行
団体名	NPO法人南信州クラブ
代表者氏名	木下 要弥
地区名	

取組みの目的	買物弱者対策用の買物バスを無料で運行する。 居住地の近くにスーパーがなく、運転免許・自家用車がなく一人ではなかなか買物に出掛けられない高齢者をサポートする。 また、ロコモ対策を含めた健康教室を開催するとともに、茶話会を開催し健康寿命の延伸に寄与する。
--------	---

具体的内容	当クラブでは平成31年2月にマイクロバスを購入し、前年度及び前前年度事業で活用した。週末は中学生や女子の活動に利用するが、平日は日中であっても自由に利用できる。そこで、総合型地域スポーツクラブである当南信州クラブは、高齢者対象の体操教室を毎週水曜日に開講。 それにあわせ、一人では簡単に買い物に出掛けられない高齢者を体操教室後に地元経営のスーパーに寄って買物をしてもらうことを計画。 講師は基本的に当クラブの担当者が務め転倒予防体操を実施。月に1回4月～2月まで毎月第3水曜日に指導力のある隣村の総合型地域スポーツクラブから講師を招聘する。 あわせて、参加者同士の親睦を深めるため茶話会を開催する。
-------	--



説明	健康体操教室5/20	説明	健康体操教室7/15
----	------------	----	------------



説明	健康体操教室9/15	説明	健康体操教室12/16
----	------------	----	-------------

取組の経過	4月1日 今年度の運行開始(毎週水曜日) 以後4月3回、5月4回、6月4回、7月5回、8月4回、9月5回、10月4回、11月4回、12月4回実施。 以後2月17日までに、1月4回、2月3回実施予定 7月上旬 東野公民館内チラシ配布 11月下旬 橋北公民館内チラシ配布
取組の効果	1、健康体操により、ロコモティブシンドロームを防ぎ健康寿命の延伸を図る。 2、サロン(茶話会)開催により仲間を増やすとともに関係を深め、独居による脳機能の低下を防ぐ。 3、独居参加者の見守りにもなる。 4、特に生鮮食料品の購入を援助し、健康的な生活の維持に寄与する。 5、地元経営のスーパーでの購入により地元経済の活性化に寄与する。
今後の取組	1、実態を把握しながら対象地域・日数を増やしていきたい。 2、買い物はスーパーだけにとどまらず、例えば丘の上商店街での買い物も計画する。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		143,000
うち助成金(見込み)		100,000
主な経費内訳 (上位3項目)	印刷代	88,000
	講師謝礼	55,000

*活動写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	歌うボランティア
団体名	ふれあいボランティア もみじの会
代表者氏名	中島 茂
地区名	飯田地域ほか

取組みの目的	歌うボランティアを通じて、地域の高齢者や介護施設の利用者さんに、いつまでも元気で長生きされるよう願う事を目的にしています。 同時に活動に参加する会員も家に閉じこもりがちになるより、多くの高齢者と交流する事で会員達も元気で過ごせる事につながり、相乗効果が生まれると考えています。
具体的内容	各場所(会場)にての活動時間は、45分～60分の間で、大正琴の奏でにあわせて3曲ぐらい童話・抒情歌などを声ならしとして歌い、次に昔の懐かしい思い出のある歌を、用意した手作りの歌集を手にして、リハビリを兼ねてページをめくりながら歌います。 以上の活動内容で場所や人数に関係なく、会員が利用者さんに寄り添って、一緒に大きな声を出して音響のカラオケにあわせて歌い、またマイクを向けて歌ってもらうと一層楽しい雰囲気になります。



説明	利用者さんと一緒に楽しむフラダンス	説明	コロナ禍で活動休止中でもマスクを付けて歌の練習をする会員達
----	-------------------	----	-------------------------------



説明	コロナ禍で活動休止中でも毎月一回の打ち合わせ風景	説明	コロナ禍の中依頼を受けて一度訪問し、マスクを付けて竜峡小唄を踊っているところ
----	--------------------------	----	--

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> ・以前に他の団体で少しボランティア活動をしていた者が、この「もみじの会」を立ち上げ社協のボランティア団体に加盟し、活動を始める事が出来ました。 ・始めは数人で各施設等の要請に応えようと、小さな音響と大正琴で活動していました。 ・歌詞の字を大きく見やすくした手作り歌集を手にして、会員と一緒に歌える事が大変好評となり、利用者さんや施設の職員さんから、たちまち私達の活動が喜ばれて、毎月要請が来るようになりました。 ・月平均18個所で、1年間200回を超す活動で、お陰様で現在一年先まで予約があり、会員達は休む暇がないほどで、嬉しい悲鳴を上げています。
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を初めて6年になりますが、介護施設等の利用者さんに対するサービスの、一旦を担っているものと思っています。 ・何よりも施設利用者さんの楽しみを増やし、リハビリ効果を伴いながら、元気を取り戻す機会を与えているものと考えています。また会員自身も若かった頃を思い出し、歌うことで更に元気になれると考えます。 ・一人暮らしの会員もこの活動を通じて、有意義な日常生活が出来ていると喜んでます。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・令和1年度の2月に「ムトス飯田賞」を頂き、一層大きな活動をしてまいりたいと思っています。 ・令和2年度当初からの「新型コロナウイルス」感染拡大の中で、活動が中断されてしまっていますので、コロナ禍の状況を見ながら活動再開に向けて、毎月1回は会員達が集まって歌と踊りの練習をして、会の体制は何時でも活動に参加出来る状態にあります。 ・歌うボランティア活動に参加して頂ける方をお待ちしています。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		273,921
うち助成金(見込み)		191,000
主な経費内訳 (上位3項目)	1、機器本体の更新と付属品の購入	1,804,000
	2、大正琴の小アンプ他	38,400
	3、記録用カメラ	54,571

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	IIDA DANCE FES(イイダダンスフェス)
団体名	フォーカス
代表者氏名	松島 輝彦
地区名	

取組みの目的	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田市にダンスのカルチャーを広めるために行う活動です。 ・ストリートダンスやヒップホップカルチャーでの交流の機会が非常に少ない、飯田市やその近隣の、ダンスを愛する方、興味がある方に発表の場、交流の場を提供する事。 ・東京など都心部で活躍するダンサーに生で触れてもらうことにより、技術や文化の向上を図る。 ・ヒップホップカルチャーの一端としてグラフィティアートにも触れえもらう機会を作る
--------	--

具体的内容	<p>ダンスイベントを企画運営し、飯田市及び近隣地域から参加者を募り交流。各グループごとにダンスショーケースの発表や、ダンスバトルなどを通じて、文化交流を図る。また東京からゲストダンスチームを招聘し、技術力の高いダンスを生で鑑賞する。合わせてグラフィックアーティストも招聘し、ヒップホップアートを生で見たり体験するような機会を作るの。も当初以上のような内容を企画しておりました。しかしながら、新型コロナの感染拡大防止の為4回も延期を行い、また内容も大幅に変更して開催いたしました。まずコンテンツを参加者だけのダンスショーケースに限定。バトルは中止としました。飯田以外の地域の方の参加を禁止し、東京から参加世手だったダンスゲストは、急遽ビデオでショーを上演するという形に変更しました。グラフィックアーティストの参加は中止といたしました。ミニマムな状態での実施とさせていただきます。</p>
-------	---



説明 入場時の感染対策

説明 お客様の検温を行う



説明 舞台では皆楽しく踊る事が出来ました

説明 フィナーレの様子

取組の経過	イベントはももとの開催時期から実に4度も日程変更を行い、2021年9月12日に開催いたしました。開催に際しては、大幅に内容を変更し、参加地域も飯田に限定したため、参加、観覧も大幅に減ってしまいました。また、新型コロナの関係で、参加を断念した方も複数いらっしゃいました。
取組の効果	参加者が大幅に減ってしまった事、コンテンツをダンスショーに絞ってしまったことにより、ダンスによる交流という本来の目的は十分に果たせなかったと思っております。東京のゲストショーに関しましては会場と相談をして、急遽ビデオでショーケースを上映いたしました。会場に来られた皆さんには大画面でショーケースを見ていただけたので、その部分に関しましては良かったと思います。
今後の取組	新型コロナが沈静化するまではなかなか難しいところもございますが、今後も定期的にイベントを開催して、飯田のダンスに対する熱や文化を醸成していきたいと考えています。年に1度のイベントではなかなか定着しないので、時期を確定して年に2回ほど行いたいと考えております。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	732,611
	うち助成金(見込み)	300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	ビデオ・写真撮影費用	50,000
	ゲスト謝礼	90,000
	音響照明費用	55,050

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	祇園囃子等の伝統芸能継承
団体名	天龍峡篠笛愛好会
代表者氏名	清水 實
地区名	川路

取組みの目的	<p>伝統芸能の川路祇園祭りが川路にはあります。そこでは必ず篠笛があり、小学生から高齢の方まで一緒になって演奏しています。しかし、継承方法には疑問となる部分もあり、順調に継承されておられません。よって、私達は譜面を整備して問題なく継承できるようにしています。</p> <p>さらに、私達は篠笛自身を伝統芸能と捉えて、その文化を継承するため、様々な場面で篠笛演奏を行っています。</p>
具体的内容	<p>この取り組みは3年間行ってきましたが、今年はコロナ禍となり十分な活動ができませんでした。しかし、川路全体を対象にして祇園囃子の篠笛講習会を計画しました。川路の祇園囃子は各区で、移動可能な屋台を持っており、さらに各区で太鼓、篠笛等を備え、貴重な伝統芸能になっています。この芸能継承のために、全体講習会を実施します。</p> <p>一方、篠笛等の和の文化を天龍峡に育て、天龍峡らしさを出していく活動をしていきます。その為の準備として、地元で開催される発表会にも積極的に参加していきます。</p> <p>また、ホームページで活動内容を報告し、PRしていきます。</p>



川路祇園祭りの篠笛講習



川路祇園祭りの篠笛講習



川路文化祭中止のため公民館で録画



川路文化祭中止のため公民館で録画

取組の経過	<p>コロナ禍のため、川路祇園祭りは中止、さらに、天龍峽をどり、文化祭等の各種イベントも中止となりました。よって、演奏発表はゼロでした。しかし、毎月の練習は計画通り行い、演奏の録画撮りをして、ホームページ「あいらぶ天龍峽」に入れました。</p> <p>1. 練習日は毎月第2水曜日19:00から約1.5時間 毎月第4水曜日19:00から約1.5時間 場所は川路公民館で行いました。</p> <p>2. 福原道子先生からの指導は中止となりました。</p> <p>3. 川路祇園囃子講習会を11月27日におこないません。 篠笛の持ち方、吹き方、種類等の基本的な事、パソコンでの譜面の作り方等の講習でした。 また、新型コロナ対策として、密状態にならないよう注意して実施しました。</p> <p>4. 演奏の録画撮り ○2020年12月9日 川路公民館で演奏の録画撮りをおこないません。 ○曲目 若者たち 里の秋 荒城の月二重奏 もみじ輪唱 冬景色 きよしこの夜 ○演奏の動画はホームページ「あいらぶ天龍峽」で検索すれば見ることができます。</p> <p>5. 芸能の郷 天龍峽 のホームページ項目作成 「あいらぶ天龍峽」のホームページに 芸能の郷づくり の活動項目をいれました。</p>
取組の効果	<p>祇園囃子では、川路全地区で篠笛演奏を小学生に教えています。この時期に習った小学生は、中学、高校、そして成人になった後も祇園祭りに参加してくれます。すばらしい世代間交流ができており、地域への波及効果は非常に大きいです。</p> <p>篠笛の演奏動画をホームページに入れましたので、誰でも見ることができ、楽しむこともできて篠笛愛好者も増え、篠笛文化が育っていく事と思われまます。</p>
今後の取組	<p>継続して、敬老会等での演奏活動は行っています。</p> <p>次年度からの取り組みとして、天龍峽において「天龍峽に篠笛の音色を響かせます」という事を計画的に進めていきます。今まで童謡、唱歌を中心に練習してきた経過がありますので、その音色を天龍峽の峡谷に響かせたいと思います。騒音にならないよう注意しながら、どこかで音が聞こえている、という程度で良いと思っています。事前にまちづく委員会等で広報を行い、関係機関にも連絡して計画していきます。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		200,000
うち助成金(見込み)		140,000
主な経費内訳 (上位3項目)	受講料	60,000
	教材費	40,000
	事務費(印刷費、インク代等)	50,000
	ホームページ作成	50,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	野池親水公園活性化事業
団体名	千代地区まちづくり委員会
代表者氏名	会長 関口 俊博
地区名	千代地区

取組みの目的	<p>野池親水公園は、千代地区のよこね田んぼ、万古溪谷と並ぶ重要な地域資源の一つであり、三遠南信道の千代インターの供用開始や、2027年のリニア中央新幹線の開業を控え、今後も増加が見込まれる山岳観光・体験型観光の拠点として、千代地区のみならず飯田下伊那一帯に誘客効果をもたらす観光資源であると考えている。</p> <p>今回の事業によって公園利用者を増加させ、公園が持続可能な地域づくりに資する地域資源となるような取組を行う。</p>
具体的内容	<p>○飯田市から譲り受けたマイクロ水力発電所は、野池親水公園の特徴であり環境教育の場となっており、引き続き地域で発電事業を継続するとともに、子どもたちの環境学習を積極的に引き受ける。</p> <p>○公園へのリピーターを増やすため、公園の環境整備活動を行う。</p>



説明

マイクロ水力発電施設



説明

マイクロ水力発電により灯る電灯



説明

環境整備活動



説明

環境整備活動

取組の経過	3月15日 マイクロ水力発電施設、今年の発電開始 8月2日 まちづくり委員会を主体とした環境整備活動 12月15日 マイクロ水力発電施設、今年の発電終了
取組の効果	○地域住民が一体となって環境整備等の活動に取り組むことにより、地域資源の再発見につなげることができた。また、活動に参加した住民の地域への誇りや愛着を高めることに寄与できた。 ○マイクロ水力発電により地区内の環境への意識を高めるとともに、地域への愛着の心を育むことに寄与できた。
今後の取組	○公園の利用者を増加させるとともに、現在無料となっているキャンプ場の利用について、協力を得る方向で検討を進め、地域で自立した事業が行える体制を構築する。 ○公園の環境整備活動等については、引き続き地域住民が一体となった取組みを継続する。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	405,000
	うち助成金(見込み)	260,000
主な経費内訳 (上位3項目)	マイクロ水力発電所発電事業委託料	300,000
	環境整備活動の際の伐木等処理費	105,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	千代の明るい未来を描く～第4時千代地区基本構想計画の策定
団体名	千代地区まちづくり委員会
代表者氏名	会長 関口 俊博
地区名	千代地区

取組みの目的	平成元(1989)年にスタートした千代地区基本構想は「緑とロマンの里千代」づくりをスローガンに、2度にわたる見直しを経て、令和2(2020)年度末をもって第3次の構想計画期間を終える。折しも昨年11月には、三遠南信道の千代インターが供用開始され、当地区と都市部が高速交通網で直結するという新たな時代を迎え、地区にとって明るい希望が見出される一方、人口減少や少子化等の課題も進行しており、地区を取り巻く環境変化に応じた地域づくりの方向性を定め、限りある資源(ヒト・モノ・カネ・時間)の重点的効果的な使い方やその取組を住民の総意により決定し、地区住民一丸となって課題を乗り越えていくことが重要である。今回、令和3年度から令和12年度を計画期間とする第4次千代地区基本構想計画を策定することで、10年後の千代の明るい未来の姿を地区内で共有するとともに、千代が元気であり続けるための方策を皆で考え、地域住民が一体となって地域づくりを進める機運の醸成を図りたい。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ○まちづくり委員会が主体となり、第4次千代地区基本構想策定委員会を設置し策定を進める。 ○策定にあたっては、第3次基本構想計画の振り返り(何がどこまでできたか)を行うとともに、市の「いいだ未来デザイン2028」、「第2次中山間地域振興計画」等との整合を図る。特に「第2次中山間地域振興計画(2019～2028)」策定の際に検討した、今後10年間に千代地区として重点的に取り組む事項も考慮し、策定を進める。 ○策定委員会が作成した基本構想計画案を地区住民に示し、意見を反映する。 ○成案を印刷し各戸配布を行い、地区住民に周知を図る。



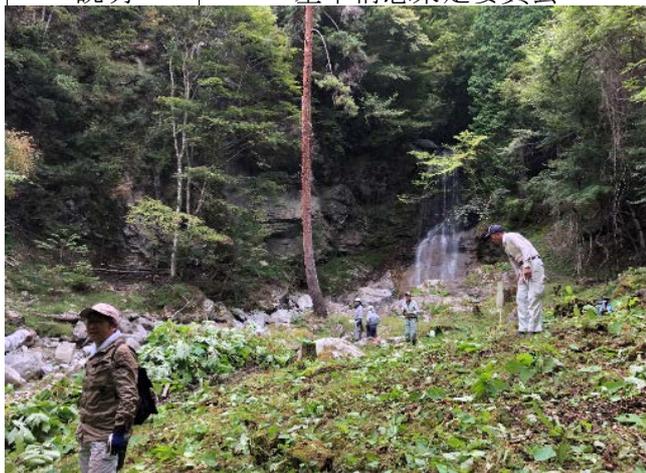
説明

基本構想策定委員会



説明

具体的な取組(よこね田んぼ)



説明

具体的な取組(万古溪谷)



説明

具体的な取組(環境整備活動)

取組の経過	6月18日 執行部会にて基本構想策定委員会を設置することを決定 7月9日 基本構想策定委員会 8月6日 基本構想策定委員会 8月27日 基本構想策定委員会 9月15日 基本構想策定委員会 10月13日 基本構想策定委員会 11月10日 基本構想策定委員会 11月18日 執行部会にて基本構想素案を決定し、各戸配布することを確認 11月 基本構想素案を各戸配布。住民からの意見募集。 12月10日 基本構想策定委員会にて住民からの意見を反映した構想を協議 12月18日 執行部会にて住民の意見を反映した基本構想を決定 1月21日 基本構想策定委員会 3月 基本構想成案を印刷、各戸配布
取組の効果	○千代地区の住民が基本構想を検討することで、自分たちの地域を自分たちで考え、行動することに繋がっている。 ○千代地区の基本構想を地区全体で共有することで、地域への愛着や誇りに繋がっている。
今後の取組	○第4次基本構想計画の進行管理を毎年行うこととし、将来像に向けた事業の進捗確認や点検を行うことで、常に基本構想計画を念頭に置いた地域づくりが進められるようにしたい。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	99,374
	うち助成金(見込み)	69,000
主な経費内訳 (上位3項目)	基本構想冊子印刷	99,374

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	上久堅地区活動記録保存事業
団体名	上久堅地区まちづくり委員会
代表者氏名	会長 北沢 保美
地区名	上久堅地区

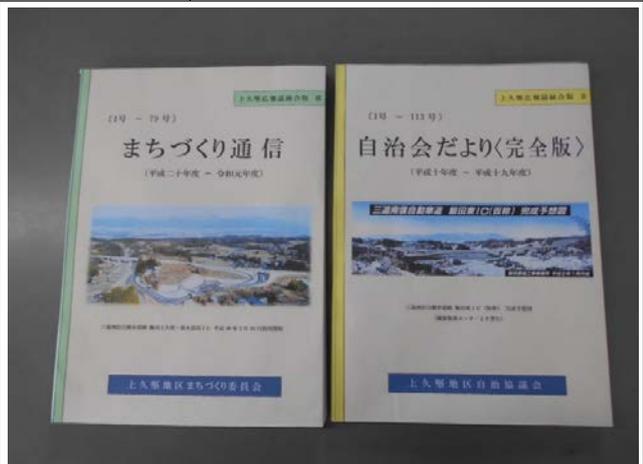
取組みの目的	○上久堅地区では、まちづくり委員会の前身である上久堅自治会の平成10年から「自治会だより」を発行しており、まちづくり委員会と体制が変更となった平成19年からは「まちづくり通信」として、活動の記録を発行しています。発行された通信などは、当時の活動を知ることができる貴重な資料ですが、現在活用できる状態になっていないため、冊子とすることで活動の記録として保存すること、又は過去の活動経過を知ることによって今後の活動に活かしていく事ができるようにすることを目的としています。
具体的内容	○活動記録の作成 5月 上久堅広報刊行委員会立上げ 6月～11月 委員会開催、編集作業 12月 発注 2月 本冊子を活用した、学習会の開催



説明 第1回会議(6/15)



説明 第2回会議(7/14)



説明 完成予想 表側



説明 完成予想 裏側

取組の経過	<p>上久堅広報刊行委員会活動記録</p> <p>6月 15日 第1回会議 7月 14日 第2回会議 6月～11月 各担当編集作業 12月 発注 1月末 冊子作成完了〈予定〉 2月上旬 冊子をを活用した学習会開催〈予定〉</p>
取組の効果	<p>○現在までの活動を地区民が共有し、まちづくり委員会活動を振り返ることによって、今後のまちづくり活動の参考とすることができる。</p> <p>○活動の記録を各地区に配布することにより、これまでの活動を共通認識し、地域活動の活性化に期待することができる。</p> <p>○まちづくり委員会役員が交代した場合でも、過去の経過を知ることにより活動の参考とすることでスムーズな運営を可能とすることができる。</p> <p>○図書館等の公共施設にも配置することで、広く地域活動を知っていただくと共に地区民の意識向上につなげたい。</p>
今後の取組	<p>○まちづくり委員会の事業実施に関して発想の転換や、新しい活動を展開する礎とすることができる。また、公民館とも連携する中で本書を活用した学習会を開催するなど、今後のまちづくり活動に生かす取り組みを展開したい。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	585,200(見込み)
	うち助成金(見込み)	300,000(見込み)
主な経費内訳 (上位3項目)	広報・印刷費	585,200(見込み)

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	上中村獅子舞保存会後継者育成事業
団体名	上中村獅子舞保存会
代表者氏名	増田浩通
地区名	上中村

取組みの目的	<ul style="list-style-type: none"> * 会員の高齢化が進み後継者の育成が課題となっている。獅子舞の所作、太鼓のたたき方、笛の指使いを動画としてDVDに取り込み、習得しやすい教材を作成したい。 * 会員募集を図るための効果的なチラシを作成したい。 * 現在撮り貯めているDVD写真などを収集し、地域の歩みとして記録にしたい。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> * お囃子の笛はメロディーラインが複雑で習得に難があるため、人材育成が愁眉の急である。現役の笛奏者の指使いを動画にし、それを見ながら練習すれば習得効果が高いと思われるため、動画DVDを作成したい。あわせて、舞の所作及び太鼓のたたき方も動画におさめ、総合的、効果的な取り組みを図りたい。 なお、作成に当たっては、OBにも参加を依頼し、できるだけ正確な動画を作成したい。 * 地域を代表する獅子舞であることを地域へPRするため、会員募集を含めたチラシを配布し、現状の理解を深めたい。 * 会員募集については一般の者だけでなく、婦女子、中高生にも参加を呼びかけ、地区を巻き込んだ募集を図りたい。 * 7月の祇園祭り及び獅子舞フェスティバルに向けた練習を行い、会員の育成を図りたい。 * 300有余年続く伝統芸能を末永く伝えるために、現在撮りためてあるDVD等の録画を保存し地域の歩みを記録として残したい。



説明 2011津島神社獅子舞奉納



説明 2011 所望の家を訪問する



説明 2018 南信州獅子舞フェスティバル参加



説明 2013お練り祭り参加

取組の経過	<p>3月14日 後継者育成のためにムス助成金を活用し本事業を行うことを保存会総会で決定。総事業費は15万以内とする。</p> <p>6月28日 事業決定通知書を受領し、DVD作成動画撮りを行った。会員14名が参加し、獅子舞と笛太鼓のお囃子全体を撮影し動画にした。笛の指使いをクローズアップし、獅子舞の流れの中でどのように指使いがなされているかわかりやすい動画ができた。</p> <p>7月26日 前回の動画は、笛4本で演奏したため、音がずれて混濁するパートがあるため、ベテランによるソロ演奏の撮影を行った。</p> <p>8月12日 「FMいいだ」から取材を受ける。会長以下3名で応対</p> <p>8月21日 「FMいいだ」オンエア</p> <p>8月21日 購入したモニターを使い、会員12名でチェックしたところ概ね良好という評価であった。</p> <p>10月5日 会員募集用のチラシを作成し、地域各戸配布した。</p>
取組の効果	<p>*この動画を使えば、笛のメロディーと指使いが分かりやすく、習得効果は高いものと確信する。</p> <p>*獅子舞記録保存動画も新たに編集したところ、古い楽譜及び従前の地域の様子もわかり、記録保存に値するものと思われる。</p> <p>*会員が増えることにより組織の若返りを図ることができ、地区住民の皆様にも改めて地域を代表する獅子舞があることの理解を深め、地区がまとまり、共生社会の実現への効果が見込まれる。</p>
今後の取組	<p>*12月19日にお囃子保存会と会合を行い効果的な会員獲得に向けて取り組む予定であったが、コロナ禍の中で延期とした。誠に残念である。</p> <p>*今回の事業結果を地区総会で報告し、その効果と反省点をチェックし、本会がさらに発展継承され、地域互助意識の醸成を図りたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		136,000 円
うち助成金(見込み)		85,000 円
主な経費内訳 (上位3項目)	指導用動画作成料	68,000 円
	モニター他	62,700 円
	広報・印刷費	5,300 円

- *活動状況がわかる写真を入れてください。
- *取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。
その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。
- *この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	羽ばたけシニア 野菜づくり を通じ 健康・交流・地域貢献GET で 生き生き生活
団体名	農愉快
代表者氏名	眞野 貴司
地区名	飯田市全域

取組みの目的	<p>超高齢化社会がやって来た……</p> <p>高齢化率30%を超える飯田市においても、「元気で楽しく過ごせるライフスタイル」を高齢者一人一人自らが作り上げなければならない</p> <p>日本の財政状況からみても、介護・医療面において「予防」というキーワードへの取り組み強化が喫緊の命題である するためには、行政任せでなく、小さな取り組みでも「出来ること」を全ての地域・全ての組織でコツコツと積み上げていくことが求められている</p>
--------	---

具体的内容	<p>「農作業(土づくり、種まき・苗植え・収穫)を通じて健康で、楽しいライフづくり」</p> <p>平成23年度飯田市の事業としてスタート、平成28年度からは、市民の自主的活動へと移行</p> <p>①野菜づくりを今一度学習し、野菜への付加価値を検討していく 味噌づくりなど ②収穫野菜を介護施設などに贈呈する・文化展・公民館文化祭参加・焼き芋会など 地域還元活動に取り組む ③リーダーづくり ④野菜づくりの技術・知識の習得向上に努める ⑤広報活動の強化</p>
-------	---



説明	収穫祭
----	------------



説明	農作業
----	------------



説明	研修視察
----	-------------



説明	シルバー文化展 野菜販売
----	---------------------

取組の経過	<p>①野菜づくりを今一度学習し、野菜への付加価値を検討していく 今年度は、味噌づくりに挑戦 令和3年3月4日予定</p> <p>②地域還元に取り組む 11月11・12日 シルバー人材センター文化展参加（バザー）野菜販売 11月26日研修視察 域産域消について考える 自主的活動の活性化</p> <p>③広報活動の強化—文化祭参加でPR</p> <p>④体操教室 健康づくり 令和3年2月15日予定</p> <p>●定例事業 1月に「2回から3回」 土づくり・種まき・苗植え・水やり そして、嬉しい収穫</p>
取組の効果	<p>① 野菜づくりの素晴らしさを生かし伝統的な味噌・漬物などの作り方を習得する</p> <p>② 自らの利益だけでなく地域貢献につながる活動で、より「充実感」「楽しさ」を感じることができる</p> <p>③ 野菜づくりの技術、知識を習得し会員の協働の力で長く続く会としていく</p>
今後の取組み	<p>取り組みを検証しながら、シニア世代が「元気で楽しく」生き生きと暮らせることに少しでも寄与できるよう活動していきたい。 特に地域貢献活動を活発化させていく</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		315,000円
うち助成金(見込み)		179,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	農業指導料	130,000円
	研修視察大型車輛レンタル代金 車移動代	40,000円
	肥料堆肥代	30,000円

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	子どもたちの農育・食育・居場所づくり
団体名	はなぶさ村農園
代表者氏名	佐藤智英
地区名	飯田市 大瀬木 北方

取組みの目的

最近では子どもたちの農業への関心が薄くなっており、土に触れ作物を栽培する機会が減ってきています。そこで、野菜作りを通じて農業の楽しさや知識を伝える活動をしていきたいと考えました。また、参加することで大人やこどもの垣根を超えてコミュニケーションをとり社会性を学べる場所を作りたいと考えました。そのために、こどもと大人が一体となり、土づくりから収穫までの作業をし、自分達で栽培した野菜を食べるまでを体験できる活動を行います。また、自分たちの栽培した野菜を販売していく活動も行い、栽培から消費までの仕組みを学ぶことができる体験活動に取り組みます。

- 具体的内容
- ・種まきや苗の定植、除草作業、収穫までの農作業体験
 - ・収穫した野菜の販売ルートの確立
 - ・収穫した野菜を使用した、収穫祭
 - ・収穫した野菜の販売体験
 - ・栽培した野菜を地域の保育園などに依頼し収穫体験を行う。
 - ・子供食堂を実施している団体に野菜の無償提供
 - ・農業技術向上のため、地域農家の方との情報交換
 - ・登山などのレクリエーション



説明

玉ねぎ収穫体験会



説明

学童じゃがいも収穫体験授業



説明

子ども食堂に野菜の無償提供



説明

さつまいも収穫体験会

取組の経過	4月12日	じゃがいも定植体験	参加人数	4人 (コロナのため、大人のみで定植)
	5月24,31日	サツマイモ定植体験	参加人数	49人 (大人16名、子供33名)
	6月7日	大豆植え付け体験	参加人数	11人 (大人5名、子供6名)
	6月21日	玉ねぎ収穫体験	参加人数	13人 (大人6名、子供7名)
	7月5、6日	子ども食堂に収穫できた玉ねぎを提供 (ハッピーハウスすみちゃんの家(飯田市),NPO法人Hug(松川町))		
	8月17日	じゃがいも収穫体験	参加者	9人 (大人3名、子供6名) (学童の授業として活用)
	9月6日	大根の種まき体験	参加者	13人 (大人6名、子供7名)
	9月21日	笠松山登山	参加者	6人 (大人4名、子供2名)
	10月18日	サツマイモ収穫体験	参加者	19人 (大人8名、子供11名)
	11月7日	子ども食堂に収穫できた大根を提供 (NPO法人Hug(松川町))		
	11月14日	玉ねぎ定植体験	参加者	6人 (大人4名、子供2名)
11月20日	子ども食堂に収穫できたサツマイモを提供 (ハッピーハウスすみちゃんの家(飯田市))			
11月22日	大根収穫体験	参加者	15人 (大人6名、子供9名)	
取組の効果	<p>地域の子供や大人たちが一緒に、農作物を栽培する楽しさや収穫する喜びを共有することができました。</p> <p>また、体験会に集まった子供たちや大人たちのコミュニケーション作りの場所にもなれたと思います。</p> <p>さらに、荒れた遊休農地を畑として活用することで、遊休農地削減に取り組み農地の再生にもつながりました。</p> <p>少量ではありましたが、収穫できた野菜を子供食堂に無償配布することで子供食堂の支援にもつなげることができました。</p>			
今後の取組	<p>来年度は、さらに参加者を増やし子供の居場所作りや食育を学べる場所として貢献していきたいと思っています。</p> <p>また、農作物栽培体験を通じて土に触れる機会を多く提供し、野菜がどのように栽培されているかを伝え、食物の大切さを伝えていきます。</p> <p>さらに、今年度の経験を活かし、野菜の栽培技術の向上や伝統野菜の栽培に取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>新しい企画として、飯田市下伊那特産の市田柿の栽培にも取り組み、その過程で地場の特産物や地域の伝統野菜について子供たちと一緒に学んでいきたいと考えています。</p>			

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		276,905
うち助成金(見込み)		193,000
主な経費内訳 (上位3項目)	野菜肥料関係	100,000
	野菜苗及び野菜種	62,600
	看板・のぼり(見込み)	76,505

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	木工製品づくり環境整備及び地域材を身近に感じる体験やイベント開催
団体名	NPO法人いいだ自然エネルギーネット山法師
代表者氏名	中島武津雄
地区名	飯田市下久堅

取組みの目的	<p>①温暖化、プラスチックによる環境汚染、里山の荒廃等を緩和するためには、暮らしの中に地域材の活用を推進する必要がある。そのため、木工製品づくりを効率的に進めるための木材加工施設「木の駅のひさかた」の環境整備を行う</p> <p>②地域材を身近に感じてもらうため、第5回の森の市開催に協力していくほか、竜丘地区の社会福祉法人の協力を得て、小学生の木工体験学習を実施</p>
--------	---

具体的内容	<p>○作業員のじん肺防止のため、作業部屋に換気扇を設置</p> <p>○直径50cm以上の大径木を地元の製材所に板挽きを依頼して製品に活用</p> <p>○木工製作に必要な機材やイベント用テントの購入</p> <p>○第5回森の市実行委員会への参加 (コロナ感染拡大により開催PRは実行委員会で行ったが、会場はエスバードでは無く参加団体それぞれの施設で展示や体験を行った。)</p> <p>○社会福祉法人松美会が運営するアフタースクールに通う子供を対象に、コースターなどの木工体験を受け入れ (コロナ感染拡大で社会福祉法人の都合によりイベントは中止となった。今後別の形で年度末までに可能かどうか検討中)</p>
-------	--



説明 里山の間伐



説明 大径木の製材した板



説明 森の市開催



説明 納めた製品の例(収納棚)

取組の経過	<p>1木の駅ひさかた施設内の換気扇設置工事 2020年11月20日～23日</p> <p>2機材購入 2020年10月～2020年12月</p> <p>3木工製品の製作(創作木簡、コースター、まな板、テーブル、棚など) 2020年6月～2021年3月</p> <p>4地域材等普及啓発イベントへの参加や木工体験の受け入れ</p> <p>①森の市(エシカルマルシェと合同で開催) 2020年10月からウェブ上で開催のための打合せや準備を行いパンフレットやチラシを作成 南信州地域から20団体が参加 11月16日から25日までを開催期間としそれぞれの団体の店舗や施設で展示及び作品販売 木の駅ひさかたでは、この間「施設見学、作品展示販売、製材機実演」を行った。</p> <p>②小学生のコースターづくり体験は、コロナ感染拡大の影響で参加者が集まらず中止せざるを得ないこととなった。</p>
取組の効果	<p>○施設の改修や機材の整備により作業環境が改善され製作が効率的にできることとなり、民間からの受注にスムーズに対応できた。</p> <p>○今年度は、女性団体が中心になって行うエシカルマルシェと合同で森の市を開催することとし準備を進めてきたが、コロナ感染の拡大によりエスバードでの開催は見送りとなり、それぞれの団体の施設で展示販売等を行う事とした。山法師も木の駅ひさかたで11月16日から10日間行ったが分散開催となったため来館者は少なかった。</p> <p>○社会福祉法人との協力連携で計画していた小学生のコースターづくり体験はコロナ感染拡大の影響で中止をせざるを得なくなり、替わって地元下久堅公民館の事業の中で実施できないか検討して来たが12月以降市内でもコロナ感染が拡大したため現在の処実施の目処はたっていない。</p>
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度に引き続き大系木の製材については地元製材会社の協力を得て実施したい。 ・当面オリジナル木工製品の開発に力を傾注 ・地元、県外を問わず林業、木工体験希望者を継続して受け入れ ・今日、人口減少の中で地域のニーズのみではなかなか販路の拡大ができないためネット販売にも力を注いでいく ・市民に地域材の活用の大切さを知ってもらうため、関係団体と連携して森の市等への積極的参加や端材市を開催したい ・地元の協力を得て里山の間伐希望林家の募集を続けていく

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		451,722
うち助成金(見込み)		300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	製材委託費	185,295
	備品費(角ノミ他)	140,927
	工事費	115,500

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	大平街道を愛する会
団体名	大平街道を愛する会
代表者氏名	下澤 一壽
地区名	

取組みの目的	<p>大平街道に点在する西国三十三札所の観音像を模した石仏は、街道を行きかう人々の大きな癒しとなってきたが、平成22年設置した木製看板の支柱が朽ち始め、観音様の説明文の判読も困難となってきた。当会発足後、傷んだ支柱の交換をしてきたが、会員の高齢化も進み、更新に伴う資金調達と労力提供が難しくなり、この際腐食に強い小型な新規看板を設置する事の総意を得た。</p> <p>今回の更新事業により、末永く大平街道を行き交う人たちに、地域民の大平街道に寄せる心意気が伝わり、大平街道一帯の魅力アップの一助となるものと信じる。</p>
具体的内容	<p>腐食に強いアルポリック板とアルミ製の支柱を用いた看板を作成する。</p> <p>経費節約を図るために、文字入れと設置は会員が行い、購入もネット販売を利用する。</p> <p>設置作業は秋を予定しており、それに合わせて周辺的环境整備を行う。</p>



6月28日 尾澤氏による観音名簿写



観音名簿写の一部



8月8日 観音周辺の除草



新看板設置作業



【新看板設置状況】



1番



9番



野花に包まれている馬頭観音

取組の経過	2月9日 年度末総会において標記事業計画を全員一致で承認 3月31日 ムトス飯田支援金申請書提出 ムトス飯田活用事業採択通知受領 6月11日 大阪(株)コーワ宛に看板資材発注 6月13日 看板裏面シール印刷(宮島写真研究所) 6月15日 看板用資材受領 6月19日 観音名記入様式、使用ペンキなど尾澤氏と打合せ 6月20日 今後購入すべき用品や今後の作業段取りなど会長と打合せ 6月25日 会長がアルミ角柱を購入。切断面のバリの切除を行う 6月25日 会長と尾澤氏が正興あどばペイントに赴き塗料・薄め液・筆を購入 6月28日 小澤氏が観音名の書き込みを行う。一部誤りの修正を行った。 7月25日 杉の木沢から飯田峠間の除草作業を実施。今後の日程を話し合う 7月27日 ケイヨーD2でスコッチ両面テープを購入 8月8日 説明看板の設置作業と観音周辺の除草作業 8月21日 支柱キャップ購入と取り付け作業 8月23日 事業の最終点検と纏め作業
取組の効果	直接の経済効果は見込めないが、街道を走行するバイク仲間やサイクリング愛好者などの情報発信で、大平街道の存在と魅力、地域民の取り組み意欲などが広く伝わり、飯田市への集客効果の一端を担える効果はある。
今後の取組	楽しい活動を続けてきており、この先も目先を変えた活動の展開をすることで、街道の魅力アップと新規会員の参加が期待される。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額		64,027
うち助成金		40,000
主な経費内訳 (上位3項目)	看板資材	16,098
	アルミチャンネル	19,720
	塗料・薄め液	10,087

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	小野子地区支援
団体名	小野子支援隊
代表者氏名	北 沢 嘉 三
地区名	上久堅小野子区

取組みの目的

少子高齢化が進み、自己所有地の管理も行き届かず、里山整備、環境保全対策等実施しても雑草、樹木等が生茂る遊休荒廃地が増加するばかり、更には冬季の雪掻きも重労働で高齢者には負担が大きく無理を強いられる状況にある。
 そうした状況を鑑み、小野子区の有志が集まり、高齢者世帯等からの要請による草刈り、生活道路の除雪、支障木の除去等を行い、共助共援で小野子区及び区民を支援し、住民から「住み続けたい小野子」だと思わせるような地区に維持発展させて行く事を目的とする。

- 具体的内容
- 隊員によるペイローダ等を使った生活道路の除雪作業
 - 後期高齢者世帯から依頼があれば庭等の雪掻きも併せて行う。
 - 依頼のあった遊休荒廃地及び空家周辺の草刈り。
 - 高齢者世帯の畑の耕起
 - 依頼のあった支障木の除去
 - バックホーによる小規模の田畑の土手等の補修作業
 - 障子張り等女性でも出来る軽作業
 - ゴミ出し、空きびん等の搬出、家庭内の不用品の片づけのお手伝い



説明 購入したスパイダーモア



説明 モア初使用(6/21)



説明 広範囲の田畑の草刈り(6/21)



説明 施設入所男性の野菜畑草刈り(7/15)

取組の経過	<p>1. R2年6月16日・・・一人暮らしの高齢女性からの依頼、草刈り及び庭、裏畑の支障木の除去。</p> <p>2. R2年6月21日・・・施設へ入居中の世帯主、奥さんも病気療養中により名古屋の長男宅にて治療に専念。家は空家状態で家廻り及び田畑の広範囲に草が生茂り、要請を受け草刈りを隊員13名で行う。この時初めて購入した「スパイダーモア」を使用した。</p> <p>3. R2年6月21日・・・区の住民から、「松枯れ病で枯れた松の大木が今にも倒れそうで危険である。危険を取り除けないか」と要請があり、伐採除去作業を4名で実施した。</p> <p>4. R2年6月25日・・・クラインガルテン入居者から草刈りの要請に2名で実施</p> <p>5. R2年7月15日・・・後期高齢者で一人暮らしの男性が、介護施設へ入所したため空家となり、野菜畑、花壇等が草で生茂ったので、要請を受けモア等を使い草刈り作業を5名で実施した。</p> <p>6. R2年5月～12月・・・介護施設へ入居者の要請により畑耕起、除草剤散布(延べ6回)1名</p>
取組の効果	<p>○高齢者世帯等の遊休荒廃地の草刈りをする事で、悩みの種であり、ストレスが溜る一因でもある荒廃地の整備がストレス解消の手助けになっている。</p> <p>○遊休荒廃地を無くし、山里らしい景観が保たれ、外部からの訪問者に好印象をもたらす。</p> <p>○冬季の雪掻きは地区でも誰でも悩みの種、その援助が出来る事で、区民との信頼関係がより一層大きくなり、特に雪による緊急車両の通行困難が解消され車の事故防止、買い物への足の確保等貢献は大きい。</p> <p>○隊員の共同作業により、区民同士の横の繋がり、しいては絆も深まり、地区全体がまとまる。</p> <p>○隊員の高齢化もあり、作業の機械化を図ることで、支援隊の維持、隊員の負担軽減につながられる。</p>
今後の取組	<p>○支援隊発足時点で資金もなく、収入もない組織としてスタート。地区民から尊い寄付を頂いて辛うじて活動が出来るようになった。しかし、現在でも作業用のビバー及び大型機械のペイローダ等は皆個人所有であり、せめてそれらの付属品や燃料代等は支援隊で出資できるようにしたい。</p> <p>○介護施設、デイサービス等への車による送迎が出来るよう2～3人の資格の取得が望まれる。</p> <p>○隊員に高齢者が多いため少しでも若返りが必要、30～40代の区民の入隊を勧奨していく必要がある。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		464,396円
うち助成金(見込み)		246,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	ペイローダ付属品(見込み)	208,976円
	スパイダーモア購入	255,420円
	自己資金(見込み)	218,396円

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	NPO法人もりの学校
団体名	NPO法人もりの学校
代表者氏名	小林俊二
地区名	飯田市山本

取組みの目的	<p>これまでネットを通じてこどもの学習支援やプログラム支援を行ってきた。それを、地元山本において、実際に子供を目の前にした活動として、パソコンのプログラム教室と理科実験教室を行う。これによって、子供たちのプログラムへの興味関心を引き出し、またプログラムする子供たちの数を増やしていきたい。</p>
具体的内容	<p>○毎月のパソコン教室 4月12日、26日 5月10日、24日 6月14日、28日 7月12日、26日 など、月2回のペースでプログラミング教室を行ってきている。 なお、コロナなどの影響で、12月は1回、1月は0回に自粛している。</p> <p>○学習ページの作成 パソコン教室に行かなくてもプログラムが進められるよう、プログラム学習ページを作成している。</p>



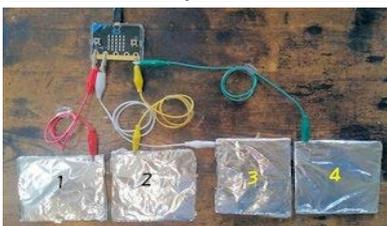
説明

パソコン教室



説明

作成した資料の表紙



説明

タッチセンサーとマイクロビット



説明

作成したロボット

取組の経過	<p>○まず、code.orgというプログラム学習ページを使って、プログラムの基礎を学習した。このなかで、繰り返しや、条件分岐などのプログラミングの基礎を学習した。</p> <p>○次に、マイクロビットという子供向けソフトを使い、 図形を思い通りに動かす、 正方形などの図形を組み合わせたデザインを描く 画像を書いてプログラムに載せる 音楽を流す シューティングゲームを作る 等の活動をしてきた。</p> <p>○さらに、マイクロビットという小さなパソコン使い、そこへプログラムをすすめた。そこでは、発光ダイオードを光らせる、 ボタンでハートマークを表示するなどできるようになった。</p> <p>○現在は上記写真にあるようなロボットを動かすことを目標に活動している。</p> <p>松堂は、月2回のペースで行ってきたが、1月はコロナのため中止している。</p>
取組の効果	<p>○定期的にパソコン教室が運営できた 毎月2回のペースでパソコン教室が運営でき、また参加者も毎回ほとんど休まず参加してくれた</p> <p>○その中で、子供たちのパソコン力が向上した プログラムの力がついて、自分で進んで楽しんでパソコンをしている姿が見られた。 さらに複雑なプログラムへ取組むことができた。</p> <p>○今後、さらに大勢のパソコンをする子たちを増やせる基板が整った。 飯田市から配布されたパソコンを教室で使う許可が得られたことで、参加人数の増加が可能になった。</p> <p>○ネットを通じてパソコンプログラムができる学習用ページが作成でき、今後参加することが予想される児童も、それに沿って学習が進められる資料(教科書)ができた。</p>
今後の取組	<p>継続して月2回のペースでプログラミング教室を開催していく。 現在はパソコン台数(7台)によって参加の人数が7人の限られている。 けれど、教育委員会から、子供に配布したパソコンを一定の条件の下でパソコン教室で使って良いという許可を得て、今後、パソコンを持ってくればパソコン教室に参加できる体制が整った。 今後、参加人数を増やしていく見通しがたった。 一緒にプログラミング教室を運営できる人を増やしていきたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		489,024
うち助成金(見込み)		270,000
主な経費内訳 (上位3項目)	パソコン	255,000
	ロボット	138,587
	実験材料	18,737

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	「そば打ち」「2.3人分のそば打ち」及び「早そば」の講習
団体名	信州飯田蕎麦達人の会
代表者氏名	仁科 保
地区名	

取組みの目的

平成8年より、「自分で打ったそばを食べたい」と思っているそば好きが集まり、この会を結成しました。以来、月に2回の定例会や体験会を開催して、地域でそば文化を継承するために活動してきました。こどもから高齢者まで、多くの人達に喜ばれ、会員も増えてきましたが、「もう少し簡単に打つ方法はないか」「少人数家族のため、そばが余ってしまう」という声もありました。そこで今回、これまで実践してきたそば打ち教室に加えて、新たに「2～3人分のそば打ち」を初心者やこどもでもできる道具を開発し、地域に伝わるそば打ちを身近に感じてもらえるように講習会を開催し、簡単そば打ちを伝達することにしました。また、そば粉を使って早く調理ができる「早そば」も併せて伝達し、郷土食であるそばを手軽に調理してもらいながら世代間交流を図ることに取り組みました。

- 具体的内容
- ①従来のそば打ち教室の定例会の継続開催
 - ・毎月第2、第4日曜日午前9時～12時(天竜舟下りの弁天港ビル内)
 - ②定例会による「2～3人分のそば打ち」講習会の開催
 - ・「2～3人そば打ち」専用「のし台」「のし棒」「包丁」の購入する。
 - ③出前講座(公民館、幼稚園、社会福祉施設等において)の開催
 - ・要望のあった所に出向いて、そば打ちの実演、そば打ち体験の指導をする。
 - ④普及活動のためのリーフレット(手順書を含む)を印刷・配布
 - ⑤「2～3人分そば打ち」道具の貸し出し



説明 幼稚園保護者による「早そば」

説明 幼稚園児による「2～3人分そば打ち」



説明 羽場公民館「2～3人分のそば打ち」

説明 上久堅公民館「早そば」

取組の経過	<p>①従来のそば打ち教室の定例会の継続開催 ・毎月第2、第4日曜日午前9時～12時(天竜舟下りの弁天港ビル内)</p> <p>②定例会による「2～3人分のそば打ち」講習会の開催 ・「2～3人そば打ち」専用「のし台」「のし棒」「包丁」を15セット購入した。 ・定例会で計15回開催し、のべ35人が体験した。</p> <p>③出前講座(公民館、幼稚園、社会福祉施設等において)の開催 ・要望のあった所に出向いて、そば打ちの実演、そば打ち体験の指導をした。</p> <p>8/9 山本かあちゃん市場 受講者13人 9/9 山本地区高齢者 受講者15人 10/4 上久堅堂平地区 受講者こども12人、大人9人 12/4 聖クララ幼稚園園児 受講者 園児40人 12/5 聖クララ幼稚園保護者 受講者 13人 12/23 羽場公民館 受講者13人</p> <p>④普及活動のためのリーフレット(手順書を含む)を印刷・配布 ・「早そば」ポスター 50枚 ・「飯田地方の伝統を守る 飯田そば」パンフレット 500枚 ・「誰にでもできる簡単そば」パンフレット 500枚</p> <p>⑤ムトス助成事業立て看板製作</p> <p>⑥「2～3人分そば打ち」道具の貸し出し-無料</p> <p>★新型コロナ感染拡大の影響で、出前講座の依頼のキャンセルが発生し、予定数の講座は開催できませんでした。</p>
取組の効果	<p>これまでの伝統的なそば打ちとは違い、簡単に誰でもそばが打てるということで、講習を受けた人たちからは好評でありました。自宅でも手軽にそばを楽しめるという点では、「早そば」も新たなそばの楽しみ方として、普及が可能であることがわかりました。親子や身近な人と家庭内で挑戦できるということで、コロナ禍でも楽しめる料理として、地域の皆さんから好評価をいただきました。</p>
今後の取組	<p>コロナ感染拡大により、思うように活動ができませんでしたが、今後も、可能な範囲で感染対策を取りながら継続することにより、時間をかけて「そば打ち」「そば文化」の普及活動を進めていく必要があります。</p> <p>また、会のメンバーの高齢化も進んでいますので、若い人たちにそば打ちに興味を持っていただいたり、そば文化継承の後継者の育成に力を注いでいきます。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		632,680
うち助成金(見込み)		300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	そば粉、打ち粉代(見込み)	200,000
	「2～3人分そば打ち」ステンレス包丁	162,000
	「2～3人分そば打ち」セット	118,000
	そば打ちリーフレット・ポスター印刷代	152,680

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	地域産材によるすまいづくりの普及・啓発活動
団体名	里山発すまいづくり集団 信州森組
代表者氏名	代表幹事 木下 光
地区名	事務局 飯田市上郷

取組みの目的	<p>いまや全世界的に木造建築が注目されている。国内でもオリンピックの競技場しかり、国の発注する建築物の90%が木造建築である。森の持つ多様な要素、環境面からの意識向上の現れと思われるが、以前として森林国「信州」の森に対する意識は低い。 近年森林率36%と自給率は回復しつつあるが、林業振興・地産地消に繋げ、特色ある地場産業として定着させたい。</p>
具体的内容	<p>□現物を解り易く体験する為の「見学会」の開催。 □活動主旨を解り易く説明・文章化・広報活動を行う。 □新規パンフの作成、階数別プラン等掲載。 □HPの更新、具現案を掲載。 □参加メンバーの建築的な知識・知見の向上。</p>

説明	「週間いいた」2020-6月掲載	説明	新しいサインの製作
説明	県産材のすまい・新築・上棟風景	説明	前面改修のすまい・パンフの製作

取組の経過	<input type="checkbox"/> 箸づくり教室の中止……森林シンポジウムが中止になり、箸づくりも中止となった。昨年の盛況を考え大変残念であった。 <input type="checkbox"/> 「見学会」の開催……(2020-6月、開催) <input type="checkbox"/> サイン板の更新……主目的を加えた頑強な製品にリカバー <input type="checkbox"/> 新規パンフの製作……パンフの内容更新、充実(2021-2月作成) <input type="checkbox"/> HPの作成、更新……現況の内容更新、具現的なプラン等掲載。
取組の効果	<input type="checkbox"/> 県産材のすまいは感触もよく、木質空間の感触の良さを体験して頂いた。。工事金が一般工務店価格である事が、まだ浸透していない。 <input type="checkbox"/> メンバーの勉強会は、今後のエネルギー問題、耐震性も踏まえ、大変意義があった。
今後の取組	<input type="checkbox"/> 活動意義を広くとらえ、建築関係者のみの集団でなく、 木工・森林・エネルギー問題に興味ある人々 の学習の場にしたい。 <input type="checkbox"/> 活動を幅広くとらえ「住まいづくり」のみの活動でなく、 森林再生をテーマに多方面に 活動して行きたい。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額		359,500
うち助成金		225,000
主な経費内訳 (上位3項目)	エッセイ掲載	94,600
	掲示シートの追加作成	85,320
	パンフの作成	17,580
	HPの更新	162,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	代田地区寺子屋
団体名	代田地区寺子屋運営委員会
代表者氏名	松澤 秀明
地区名	飯田市松尾代田

取組みの目的
 明治6年に学校制度ができるまでは、地域の子どもは地域に開設された寺子屋で、読み書き算盤を習っていた。学校制度ができた後は、そのほとんどを学校に任せてしまい「地域の子どもは地域で育てる」との思いを忘れてしまっている。上久堅地区では、夏休みに地域の大人が子どもの面倒を見る「寺子屋」を30年前から行っている。この活動を知ってから、何時かは自分の地域でも行いたいとの思いがあった。この考えを同級生や区長さんに相談したところ、「いいことだからやってみようではないか」となり、地区の大人6人が平成24年から始めて9年目になった。今年はコロナ禍でラジオ体操も中止となったことから、開催について議論した。保護者や子どもさん方から「来年も是非開設してほしい」「ぜひ来たい」という声をいただいている経緯もあるので、感染予防策をできる限る講じて開催することにした。

具体的内容
 ○「夏休み寺子屋」は、夏休みの初日からお盆までの平均18日間、毎日朝6時40分にラジオ体操が終わった後、公民館へ入って夏休みの宿題帳を7時30分まで行っている。また、毎日「師匠の話」として地域の大人が子ども（寺子）に話す時間もある。こうした「朝学」の他に、「工作教室」や「星見の会」を行っている。また、1日だけであるが自分でおにぎりを作って食べる「朝食会」を保護者も参加して行っている。
 ○冬休みは「書初め教室」として、学校から出される書初めの課題を1月4日前後の午前中、地域の大人が師匠となって書いている。その中で干支の大文字を幅90cmのロール状の障子紙書くことも行っている。書き終えた後は、新年の決意を寺子も師匠も語り合う「お茶会」を行っている。でき上がった作品の一番いいものは学校へ持って行き、二番目にいい作品は、2月の松尾地区文化祭に出品して見ていただく予定である。



説明 フェースシールドをつけての入山式



説明 朝学をする寺子を支援する師匠



説明 工作教室「プラコップの七変化」



説明 師匠のお手本を基に書初めをする

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> ・6月26日 代田地区組長会で「寺子屋」について説明し、募集案内の組合回覧を依頼 ・7月18日 参加者の集約18名・参加者名簿作成 師匠9名連絡網作成 ・7月30日 師匠連絡会。参加児童保護者説明会 ボランティア・ボランティア行事保険加入 ・8月 5日 寺子屋入山式(開講)(朝6時45分～7時30分まで) 以後7日間開講 ・8月 7日 工作教室開講 ・8月 8日 星見会開講 ・8月11日 下山式(終了式)・がんばったで賞を授与 ・8月26日 代田地区組長会で活動報告をし、活動報告の組合回覧を依頼 ・8月28日 師匠反省会開催 ・11月26日 代田地区組長会で「書初め教室」を説明し、募集案内の組長回覧を依頼 ・12月13日 小学校・中学校へ書初めの課題と紙の大きさを問い合わせる ・12月16日 参加者集約。寺子17名、師匠10名 ・12月19日 師匠連絡会(お手本を書いて練習する) ボランティア行事保険加入 ・1月 4日 書初め教室開催(9時～12時) ・1月26日 代田区組長会で活動報告をし、活動報告の組内回覧を依頼 ・2月 6日・7日 松尾地区文化祭で書初め作品を展示発表
取組の効果	<p>(寺子の感想)しずかだったから、べんきょうがどんどんすすみました。(2年生)・勉強で分からなくて、しつこく聞いてもやさしく教えてくれたので勉強がよく分かりました。師匠の過去にあった事やおもしろかったこと、工作教室などがあり、ためになることがあってよかったです。(6年生)</p> <p>(保護者の感想)朝寺子屋で宿題を済ませて帰ってくる子どもは満面の笑顔で「こんなにできたよ」と私に見せてくれ、一緒に○を付けました。その後食べる朝食も食欲が出るので、もりもり食べられ親子共にニコニコの毎日でした。その後も勢いがついているので、プールに行ったり他の活動に参加したりと本当に充実した休みになりました。・家で「宿題をやった?」というような言葉を言わなくなったので、お互いに嫌な思いをしなくていいです。</p> <p>(師匠の感想)昨年はじめて「出て来られる日だけでいい」という言葉に少し気を楽しに参加させていただいた。始めてみると、子ども達から元気をもらえ、私でも役立つことがあることが嬉しくなりました。素晴らしい活動だと思います。書初めの支援も楽しく充実しています。</p>
今後の取組	<p>○コロナ禍であるが、来年も開講していきたいと計画している。この活動は開講時間もラジオ体操が終わった6時45分から7時30分までと実質45分間であり、終わった後から師匠も仕事に行くことができる。また、子どもに教えるのではなく、子どもの学習を見守る活動であることから、特別教職の経験は必要としないことから、代田地区以外でも、師匠となれる人や場所はあるので開講できると考える。他地区へ啓蒙していく計画はあったが、コロナ禍でできなかった。来年度は他地区区でも開講できるように広めていく活動を行ってきたい。</p> <p>○代田地区は女子短大のある上段と国道沿いの下段とに大きく地域が分かれている。公民館は下段にあり、上段の子どもが朝下段の公民館へ歩いて降りてくるのは無理なので、現在は師匠が希望のある場合は送迎をしている。今後は上段にも開設していくことを考えたい。</p> <p>○運営に関わる費用を今までは、「松尾まちづくり委員会のやらまいか松尾」、「ムトス飯田助成事業」「退職公務員蓮玲下伊那支部松尾」等から支援をいただいで運営することができてきたが、これからは、もっとPTAの皆様との協力をいただくと共に、代田地区の区の事業として位置付けていただけるように働き掛けていきたい。</p> <p>○寺子と師匠となってくださる方をさらに増やしていきたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		146,200円
うち助成金(見込み)		112,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	事業費 (ボランティア・ボランティア行事保険)、奨励賞 等	18,922円
	備品費(プロジェクター等購入)	38,628円
	材料費(生け花教室、書初め用紙、ひらがな練習帳)	15,711円
	その他(講師謝礼、プリンターインク代、用紙代)	72,939円

取組名称	小学生のための「笛」の吹き方教室
団体名	代田獅子囃子保存会
代表者氏名	松澤 秀明(申請時の保存会長)
地区名	飯田市松尾代田

取組みの目的

明治初期に伝授されて以来140年にわたって「代田獅子囃子」は、代田区民の有志によって構成される「代田獅子囃子保存会」が伝承している。2年に一度、代田区の鎮守「下の宮諏訪神社」の祭典に合わせて地区内を巡行している。獅子の前で稚児(小学3,4年生女子)が舞う可憐さに特徴がある。一方男児の参加する場面がない。そこで、男児女児に関わらず子ども達に新たに加わっていただき、地区全体で継承していきたいと願っている。一昨年度から小学生への参加について活動を展開し、現在13名の子どもが参加している。今年度の春季例大祭では、子ども用の衣装を身に着けた子ども達が地区内を巡行する予定であったが、コロナのため中止となってしまった。今春4月には是非披露をしたいと願っている。

具体的内容

平成30年から小学生への参加についてより具体的な活動を行ってきた。①小学校地区PTAで説明会の開催 ②子ども達の集まる行事である「天神様」で獅子舞の披露 ③地区回覧による募集案内 ④保存会役員による個別訪問による依頼 等々を繰り返し実施してきた。その結果平成31年12月には、10名の小学生が参加をしてくれる事になった。平成31年1月から笛の吹き方教室を開講して、長期休みを中心にこれまで17回行ってきた。この練習には笛の師匠となる大人が毎回6～7人参加して支援している。また子どもに分かりやすく伝えるために、楽譜を作成し、指使いについては、絵や映像化してそれをファイル化したり、DVDにする等の工夫を行っている。そうした努力もあり子ども達の上達は目を見張るものがあった。一昨年9月には敬老会で披露するまでになった。一昨年度11月には衣装も整い今年度春の式年祭で披露を目指していたが、コロナのために中止となってしまった。コロナ禍ではあるが今春には披露したい。



説明 夏休み練習・DVDを観て覚える



説明 夏休み・エアコンのある部屋で練習



説明 冬休み・低学年の皆さんの音出し練習



説明 冬休み・2曲目「梅が枝」の練習

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> ・2月末 新調した、股引、腹掛け、ジャンバーを一人用ケースに入れ、通し番号を付け、大きさを書き入れて、保管箱3つに入れた。新調した笛も、保存箱に入れた。 ・3月4日 新調した股引、腹掛け、ジャンバーを子どもの身長に見合う大きさのものを一人一人に届けた。貸し出し簿を用意して、貸し出した児童名、衣装の大きさを記載した。 ・3月上旬 コロナのため春季例大祭は中止となったため、「春休みの練習」は中止とした。 ・7月下旬「夏休みの練習」について検討し、フェースシールド、消毒液を購入した。 ・7月26日 「夏休み」の練習を開催するか、保護者へアンケートを実施。参加してもよいという方について、練習を行う事にした。但し、できる限りの感染予防策を講じた上でという条件付。 ・8月5日・17日の2回「夏休みの練習」を開催。 ・8月29日 9月の敬老会での笛の演奏披露について、保護者アンケートを実施。参加してもよいというご意見が少数であったため、出演を中止とした。 ・12月4日「冬休みの練習について」保護者アンケートを実施、多くの保護者が感染予防策を講じてならば実施してもよいというご意見なので実施を決定。 ・12月26日、1月5日の2日間「小学生のための笛の吹き方教室」を開講した。 ・12月末～1月上旬 衣装について、身体の大きさにあっているかアンケート調査を実施。 ・1月上旬 新たに新調する、大きさと注文数を決めて発注。
取組みの効果	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナのため、昨年の1月に練習をして以来夏休みに2回、冬休みの2回の練習を行っただけであるが、子ども達は、しっかりと覚えていて2曲が吹けるようになった。今春春季例大祭が実施されても、十分に笛を吹いて披露できるまでになっている。 ○来春の下の宮諏訪大社春季例大祭で、子どものお囃子が加わる見通しが持てるようになった。衣装も整えることができた。準備はできているので、来春は是非お祭りを実施してもらい、子ども達を地域デビューさせてあげたい。 ○当初はこんなに早く吹けるようになっていかなかった。子どもの支援策として、笛を手作りしたり、楽譜を作ったり、指使いについては図化して映像化してDVDにしたりするなど、今まで取り組んできた練習方法や教授の仕方に自信が持てるようになった。 ○こうした活動を通して、小学生の会員を増やすことへの自信が持てるようになった。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○今春の式年祭に向けて、できれば春休みに集中練習を行い、お囃子の完成度を上げたい。 ○今春の式年祭で地域デビューをするので、子どもの笛のお囃子がよく分かるような隊形を考えるなど、披露の仕方を工夫したい。 ○今春の式年祭では、笛を吹く子どもの保護者にも警護役として参加してもらいみんなで楽しみたい。その発展として、保存会への入会を勧めたい。 ○「子どもの笛の吹き方教室」の活動を知ってもらえるように活動報告を行っていく。 ○子どもの笛のお囃子を披露する機会があれば積極的に披露して知ってもらうようにする。 ○春季例大祭後は、笛を吹けるようになった子どもは、自分で取り組んでみたい、獅子舞やお囃子の他の楽器に、組み替えて取り組んで行けるように支援したい。 ○引き続き、笛を吹く子どもの参加者の募集を行って、会員を増やしていきたい。 ○将来的には、子ども用の獅子頭を作って、子どもの獅子舞ができるまでにしたい。

報告

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	174,000円
	うち助成金(見込み)	118,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	事業費(腹掛け、股引、ジャンバー)	116,500円
	備品費(笛)	30,000円
	事務費(プリンターインク、名札、ファイル等)	6,050円
	その他	21,450円

取組名称	未来へつなぐ風越山麓わくわくプロジェクト
団体名	丸山まちづくり委員会
代表者氏名	小澤 伸好
地区名	丸山

取組みの目的	<p>リニア中央新幹線や三遠南信自動車の開通による交流人口の増加を見据えて、観光客(主に登山客)を受け入れる体制づくりに取り組む。また、次世代を担う若年層の参加を呼びかけ体験することで、郷土愛や誇りを高め将来この地に還って来たいと思える地域づくりや新たな魅力ある資源づくりに取り組み、それらを活用した交流・定住につなげる。</p>
具体的内容	<p>○平成30年3月に植樹したヤマザクラの管理として作業道整備(将来の遊歩道)を行う。また、植栽したヤマザクラが獣害の被害で枯損が多く見られるので、挿し木を行い補植の準備を行う。</p> <p>○次世代を担う若年層の郷土愛や誇りを高めるために、小学生を対象に風越山麓公園でのツリークライミングの体験を実施する。</p> <p>○風越山の自然を守る一環として、風越登山への登山を計画している地域の小学校を対象に携帯トイレの普及の出前講座を行い、一緒に登山に同行して携帯トイレを使用してもらう。</p> <p>○平成30年6月に植栽したブルーベリーの苗木の育成管理を行い、登山客を対象としたブルーベリー狩りに向けた体制を整える。地域の保育園児に収穫体験を実施(天候不順で中止)するとともに、収穫したブルーベリーを加工した商品の研究を進める。</p>



説明 ブルーベリー防鳥網設置



説明 携帯トイレ普及啓発(出前講座)



説明 ツリークライミング



説明 夕源平歩道開設

取組の経過	<p>4月25日～12月5日(8回開催) ワークショップ 4月25日 カワラナデシコポット移植作業 5月10日～10月25日(6日間) ブルーベリー圃場草刈り及び雑草の根の除根 5月17日 カワラナデシコ地区内配布 6月7日 ブルーベリー圃場防鳥網設置 6月10日 丸山小学校風越山登山事前学習会(携帯トイレ出前講座) 6月26日 丸山小学校風越山登山同行(携帯トイレ使用) 6月27日 ヤマザクラの挿し木用の穂木取り及び挿し木 7月12日～8月上旬 ブルーベリー収穫 8月23日 ブルーベリー圃場防鳥網撤去 8月29日 ブルーベリースムージー試作検討会 8月30日 丸山地区地震総合防災訓練(携帯トイレブース出展) 9月27日 ツリークライミング体験 10月1日 会報(創刊号)発行 10月25日 カワラナデシコ播種 10月25日～ きのこと収穫 11月8日 丸山地区文化祭(携帯トイレブース出展) 11月22日 夕源平歩道整備 以下実施予定 1月 会報(第2号)発行 1月～3月 ワークショップ 3月7日 ブルーベリー勉強会及びキノコ種駒植菌</p>
取組の効果	<p>○将来を担う子供たちも参加する世代を超えた地域ぐるみの活動により、地域コミュニティが深まるとともに、将来この地域に帰ってきたいと思えるような郷土愛を育むことにつながる。</p> <p>○既存の地域資源の活用と新たな地域資源の創出により魅力ある地域とすることで、交流人口の増加、さらには移住・定住に向けた地域づくりにつながる。</p>
今後の取組	<p>○事業主体である「未来へつなぐ風越山麓わくわくプロジェクト」は、現在、丸山まちづくり委員会の専門委員会の位置付けであるが、将来的には、まちづくり委員会から独立した法人化を目指し、事業を継続していくための体制づくりに取り組んでいく。</p> <p>○まちづくり委員会のホームページを作成し(現在検討中)、地区の情報やわくわくプロジェクトの活動状況を地域内外に広く発信することにより、活動に対する理解を得て、参加者・支援者を獲得する。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		425,000
うち助成金(見込み)		297,000
主な経費内訳 (上位3項目)	ツリークライミング事業費	120,000
	携帯トイレ普及啓発	105,000
	山林整備	50,000
	その他	150,000

- *活動状況がわかる写真を入れてください。
- *取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。
その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。
- *この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	猿庫の泉保存と野点運営
団体名	猿庫の泉愛護会
代表者氏名	代田康弘
地区名	飯田市 羽場地区

取組みの目的	泉の水量確保、登り道及び周辺の整備 高齢化した猿庫の泉保存会に協力し運営活動を推進していく
具体的内容	泉の水量が減少した為、パイプの径を3倍のものに取り換えタンクも50～200に取り替えた。 5月から10月にかけて毎日曜日に行う野点の協力 トイレ、茶室の清掃と泉に登る通路の整備、清掃 泉周辺の木々の整備、植樹 野点に来ていただく為の宣伝活動(のぼり旗の設置、日々の口コミによる宣伝等)



説明

野点風景



説明

年末大掃除



説明

ドウダンツツジの植樹



説明

大休橋のぼり旗設置

取組の経過	<p>令和2年4月23日 猿庫の泉愛護会設立総会を開催、会員16名にて発足する。</p> <p>4月10日～30日 泉給水管・排水管の布設替え工事を実施水量を確保できる。</p> <p>6月7日 今年度第1回の野点、16人の参加を見る。SBCラジオの取材を受ける。愛護会腕章、のぼり旗を製作し各人着用、多摩川精機入口付近より10本の旗を設置する。</p> <p>6月21日 野点39人、テレビ信州の取材を受ける。</p> <p>6月24日 市長懇談会にて猿庫の泉保存、運営、将来展望等を要望し観光課より回答を受ける。</p> <p>10月25日 のぼり旗を10本増やし要所に設置した。10月25日をもって今年度の野点は終了とした。</p> <p>12月4日 猿庫の泉保存会・曙友会・愛護会・抹茶社中総勢30名にて泉周辺の大掃除(トイレ、四阿屋、茶室、倉庫、通路)を実施。今年度の事業を終了した。</p>
取組の効果	<p>令和2年3月までの少なかった水量が元の水量になった。野点は14回実施され延べ320人の方々に楽しんでもらえた。登って行く通路の清掃、整備を野点実施日に行い良好に保てた。</p>
今後の取組	<p>通路に手すりを設置して高齢者の安全を確保したい。通路の土留丸太が腐っているので取り替えを行う。泉山斜面にアジサイを植樹したい。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	3,452,900
	うち助成金(見込み)	300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	昇道階段擬木化改修	2,694,120
	手摺取付	549,780
	アジサイ植樹	209,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

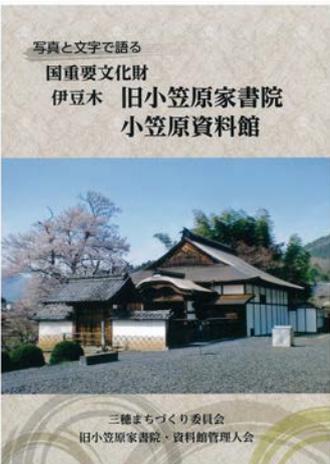
*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	「写真と文字で語る旧小笠原書院・小笠原資料館」のパンフレット作成
団体名	三穂地区まちづくり委員会
代表者氏名	会長 林 高功
地区名	三穂地区

取組みの目的	三穂地区の基本構想を踏まえ、その取組みの一環として地区の財産である、旧小笠原家書院・資料館の文化的価値、時代的背景を地区の方々に再度理解をいただき認識を深める。
具体的内容	小笠原氏に伊豆木小笠原氏の由来や書院・資料館(展示品)の見どころを分かりやすく文書化し、地区内、関係機関に配布する。

	
---	--

説明	パンフレット表紙	説明	パンフレット裏表紙
	写真		写真
説明	環境整備活動	説明	環境整備活動

取組の経過	4月～6月 全体調整、編集作業 7月 校正、印刷 7月30日 パンフレット納品 8月6日 まちづくり委員会役員会にて完成報告 8月21日 三穂地区各戸へ配布
取組の効果	地区の方々が書院、資料館へ足を運んでくれる機会が度々あるが、漠然と理解している方が多いと思われる。書院や資料館を見る視点を明確にし、重要文化財でもある地域の財産への思いを深める。そのことが地区外への発進となっていくものと思われる。
今後の取組	○地域の方の口こみ等で交流人口の増加への取組みを行いたい。 ○まちづくり委員会として景観保護など取組んでいく。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		319,000
うち助成金(見込み)		223,000
主な経費内訳 (上位3項目)	印刷製本費	319,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

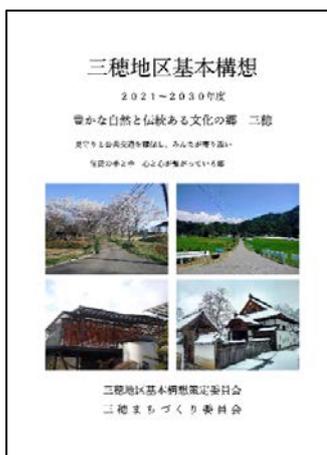
*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	第3次三穂地区基本構想の策定
団体名	三穂地区まちづくり委員会
代表者氏名	会長 林 高功
地区名	三穂地区

取組みの目的	三穂地区では、平成13年から地区の基本構想・基本計画を策定し、10年ごとに見直しながら、地域づくりを行っている。 今回、基本構想・将来計画を策定し、まちづくり活動を計画的に実施していくため、新たな基本構想・基本計画を検討したい。
具体的内容	○まちづくり委員及び関係団体等で構成する基本構想・基本計画策定委員会を組織し、地区の将来構想をまとめる。 ○策定にあたり、前回の基本構想・基本計画の検証をし、7つの分科会で策定を進めた。 ○基本構想・基本計画冊子を印刷し住民に周知する。



説明

パンフレット表紙(案)



説明

基本構想策定委員会

写真

写真

説明

説明

取組の経過	<p>6月 2日 基本構想策定委員会 8月 4日 基本構想策定委員会 10月 6日 基本構想策定委員会 1月12日 基本構想策定委員会</p> <p>上記のほか、三役会(26回)、各委員長及び役員による運営委員会(13回)、各分科会等を行った。 1月中旬～2月 基本構想案を校正、印刷 3月 各戸配布</p>
取組の効果	<p>○構想策定の過程で、住民の地域づくりへの関心や意識を高めることが期待できる。 ○策定した構想を全戸配布することで、地区の将来目標を住民が共有し、地域全体で目標に向かって取り組むことができる。</p>
今後の取組	<p>○年度ごとに構想実現のための具体的事業を実施し、目的の達成をめざす。 ○必要に応じて基本構想・基本計画を検証し、見直しを実施する。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		352,000
うち助成金(見込み)		246,000
主な経費内訳 (上位3項目)	印刷製本費	352,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	しなの大和2020～天竜ガイドツアー～
団体名	しなの大和
代表者氏名	寺澤 亜由美
地区名	飯田市

取組みの目的	よさこいを通じて飯田市の観光スポットである天竜峡舟下りの楽しさを県内外にアピールしたい。 様々な世代の人とよさこいでつながりたい(イベントへの参加にて) 飯田りんごんでのよさこい祭りの復活をしたい。 イベントに参加し(福祉施設、地元の祭り、踊りんごレボリューションの普及)よさこいをすることで地元を盛り上げたい。 県内のチームで交流して地域に貢献したい(災害のボランティア等)
具体的内容	天竜峡舟下りをテーマにした作品作りをする。イベントに参加し南信州をよさこいでアピール 実際には天竜峡マルシェでの演舞と喬木社協主催の一人暮らしの高齢者のイベントの参加。 今年はコロナでメンバーを増やすことや、イベントへの参加は困難でしたが、ツイッターやインスタでの情報発信やYouTubeでの映像による演舞発信やオンラインでのイベント参加をしました。 県外のイベントではどまつりとこいや祭りに動画での参加をしました。 踊りんごレボリューションという中央通り1丁目の皆さんと作った、みんなで踊れる総踊りの普及活動としては清内路小学校の運動会に出るための練習に参加し、踊りの指導をしました。



説明 中日新聞の切り抜き



説明 今年の名物ガイドさん



説明 天竜峡マルシェの写真



説明 天竜峡マルシェの写真

取組の経過	<p>2020年より作品作り開始。 2020.8月オンラインでど真ん中祭りに参加。清内路小学校に踊りを教えにいく。 2020. 9月YouTubeの載せる動画の撮影。撮影の様子を見て声を掛けられ新聞の取材あり。 2020.10月25日天竜峡マルシェと喬木の稲穂会での演舞披露。 2020.12月こいや祭りに動画で参加。 週1回の練習と月1回の1日練習は感染対策とコロナの状況に応じて休みを入れながらしていました。</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ●天竜舟下りをよさこいを通じてPRすることが出来た。分かりやすい作品で地元をアピール出来て面白いと評価を頂いた。 ●よさこいを通じて様々な世代の人が集うコミュニティを形成することで交流の場が生まれ新たなつながりが生まれた。 ●地域のイベント、小学校への指導等へ参加することで地元住民、高齢者、子供との交流を深めることでよさこいを通じて地域を元気にする効果があった。 ●地元の写真館の方に動画の撮影をお願いしたり、天竜峡観光協会の方に声を掛け撮影場所をお借りしたことで新たな人脈が出来た。 ●中日新聞にのりチームの活動をアピールできた。
今後の取組	<p>コロナの収束を待って現在のメンバーよりメンバー数を増やし、日本ど真ん中祭りで40人以上でパレード演舞をすることが出来るようになる。 小さい子からお年寄りまで参加できるコミュニティに育て上げる。また結婚しても子供が出来ても参加しやすい環境作りに努める 日本ど真ん中祭り等で実績を残し県内1のチームを目指す。 さらに地域の祭りや敬老会、福祉施設へのボランティア活動に参加を強化し地元住民や高齢者の方々との交流を深める。 保育園や小学校のイベントも参加し小さな子でも踊れるよさこい(中央通りの商店街と共同で作った総踊りである踊りんごレボリューション)を広めていく。 他チームとの交流の中で被災地支援をしたりよさこいで元気を与える活動に取り組みたい。 コロナでも出来るイベントを開催したい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		1,288,660
うち助成金(見込み)		300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	衣装代	915,000
	作曲代	255,660
	スクリーン	118,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	芸能の郷づくり ～川路・天龍峡・龍江～
団体名	芸能の郷づくりの会
代表者氏名	鈴木 敬
地区名	川路、龍江、千代

取組みの目的	<p>・川路や龍江地区には、天龍峡の活性化に向けた多様な活動団体があるが、その中でも特に「芸能の復興」という視点から、天龍峡再生を目指したい。そのため、令和元年度にこの会を立ち上げた。</p> <p>・川路地区には、260年続く祇園囃子がある。天龍峡を含む龍江や川路地区で、日常にお囃子や、踊りなどの芸能に触れられる地域を目指したい。</p> <p>・具体的な目標としては、毎年9月に行われる「天龍峡をどり」において、川路・龍江地区住民からお囃子や踊りの担い手を輩出したい。</p> <p>・平成30年に設立された川路地区の天龍峡篠笛の会と連携して、日常にお囃子や踊りなどの芸能を披露する場をつくりたい。</p>
具体的内容	<p>1 着付け、踊り研修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着付け、日本舞踊の講師を招いて、毎月1回、研修会を実施する。 ・三味線研修会参加者の演奏する三味線に合わせて、天龍峡に伝わる龍峡小唄や伊那節を踊る。 <p>2 三味線研修事業(昨年度にムス助成事業実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年に続き、毎月1回講師を招いて実施する。 <p>3 芸能の成果発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の行事、イベントで、練習成果を発表する。また、関心を持つ方に活動紹介をする。



取組の経過	<p>1 着付け、踊り研修事業 ・コロナ禍のため7月から実施 ・年度初めに、龍江、千代、川路地区を対象に募集チラシを配布し、9名が登録。 ・毎月1回、講師を招いて、着物の着付けと龍峡小唄などの踊り方の研修を実施した。 ・天龍峡で継承している龍峡小唄、伊那節を踊った。 ・研修会実施日は、以下のとおり。 7月12日、8月9日、9月12日、10月10日、12月13日</p> <p>2 三味線研修会(昨年度から開始) ・昨年に続き、毎月1回講師を招いて実施した。 ・6月14日、7月12日、8月9日、9月12日、10月10日、10月25日、11月8日、12月13日</p> <p>3 芸能の成果発表 ・川路地区の運動会で、練習成果を発表した。(芸能の郷づくりの会の三味線と唄い手に合わせて、地区住民みんなで龍峡小唄を踊った。)</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・予想より多くの参加者が集まり、芸能の郷としての風土があることがわかった。地域の強みとして認識できた。 ・恒例行事となった「天龍峡をどり」は、地区外からの応援団に頼らずに、地元人材で担うことができそうになった。 ・芸能が盛んだった頃の天龍峡を今の若い世代が知ることで、世代を超えた文化の継承ができる。 ・天龍峡大橋でつながる3地区の研修会参加者の交流につながった。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・三味線と踊りと併せることで、双方の技術力を上げる。 ・天龍峡篠笛愛好会などと連携することで、芸能の関係団体とのつながりを深める。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		378,000
うち助成金(見込み)		265,000
主な経費内訳 (上位3項目)	広報、事務費他	128,000
	謝礼(指導者謝礼、着物レンタル代)	30,000
	半袖半纏(備品)	220,000

*活動写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	天龍峡「花の里推進活動」
団体名	天龍峡温泉観光協会 天龍峡アヴニール倶楽部
代表者氏名	竹村 公秀
地区名	川路天龍峡

取組みの目的	天龍峡は天龍峡大橋が完成し、観光客が飛躍的に増えることが予想されておりますが、地元にとって天龍峡大橋のみを見て帰ってしまうお客が多いことが懸念されております。何とか工夫をして、姑射橋付近まで下りてきていただき、本来の天龍峡を楽しんで頂き、その結果として天龍峡の街が活性化することを大きな目標として活動しております。
--------	---

具体的内容	<p>天龍峡の魅力をアップさせ、天龍峡大橋を訪れた観光客に景勝地まで下りて来て頂く為に、下記の活動を展開します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 天龍峡の桜は飯田市街の他の有名な桜に押されて目立たないのが実情です。樹齢350年の山桜や、300年の美しい枝垂桜等見応え十分な桜が有りますが、知名度は低く、これらの観光資産をPRして行く事が重要と考えております。 2. 臼つじ橋付近に桜の木が少ない為、この地に自生している山桜の植栽を計画します。 3. 歌に歌われた岩間つつじが川岸に少なくなってしまうので、挿し木により育てたつつじを川岸に植栽します。 4. 姑射橋から上流を眺めた時に映える様に、天龍川上流に菜の花を栽培します。
-------	---



説明 桜説明用看板設置作業



説明 菜の花種撒布作業



説明 天龍峡溪谷岩間つつじ移植作業



説明 天龍峡遊歩道脇整備作業

取組の経過	<p>1. 天龍峡が誇る桜に名前を付けて、世に売り出す活動を実施しました。具体的には3本の桜(北駐車場の江戸彼岸桜、第一公園の夫婦桜、第3公園の樹齢350年の山桜)にそれぞれ「幾島3本桜」、「梶山夫婦桜」、「いぼ神山桜」と名前を付け、その云われ等の説明用看板を設置しました。</p> <p>2. つつじ橋付近に桜の木が少ない為、山桜の種から苗を育てて植栽をする準備をしました。具体的には200個ほど種を採取し、苗床をつくり、種蒔きを行いました。令和3年5月頃芽が出ると期待をしております。</p> <p>3. 歌に歌われた岩間つつじが川岸に少なくなってしまうので、地元有志が挿し木により育てた岩間つつじを川岸に植栽しました。</p> <p>4. 姑射橋から上流を眺めた時に映える様に、天龍川上流に菜の花を栽培する準備をしました。具体的には種を購入し、遊休地を整備し、種を撒きました。令和3年の春には綺麗な菜の花が見れると期待をしております。</p> <p>5. 更に当初の計画に追加して、公園内の遊歩道の整備、周りの公園の下草刈りを月1回のペースで作業を行いました。</p>
取組の効果	<p>1. 桜の看板の設置に関しては、立派な看板を設置出来たので、今後の認知度UPを期待しております。</p> <p>2. 山桜の植栽計画は、5年くらい時間がかかる取り組みの為、継続して活動を進めて参ります。</p> <p>3. 岩間つつじの植栽に関しては、険しい峡谷内に15本移植しましたが、厳しい環境の為どのくらい育つか不明ですが、息の長い計画として取り組んで参ります。</p> <p>4. 菜の花の育成に関しましては、令和3年3月頃には美しい花が咲くと期待をしております。近くの幾島桜と花の咲く時期が同じであり、観光客の目を楽しませてくれると期待をしております。</p> <p>5. 遊歩道の整備、下草刈りは、膨大な公園であり、限られた人数での作業では回りきっておりませんが、遊歩道からつつじ橋や龍角峰がすっきりと見れるようになりましたので、これらの活動も観光客には喜んで頂いていると考えております。</p>
今後の取組	<p>この活動を推進する組織の名前を募集し「天龍峡アヴニール倶楽部」と名づけました。この会を中心に天龍峡の魅力UPに向けて下記の活動を継続して推進して参りたいと考えております。</p> <p>1. 桜の看板に引き続き、天龍峡の隠れた観光資産を世に売り出す計画を進めて参ります。</p> <p>2. 山桜の植栽に関しては、時間がかかる為、諦めずに計画を進めて参ります。</p> <p>3. 岩間つつじの植栽に関しては、苗の育成が課題であり、次年度計画したいと思います。</p> <p>4. 菜の花の植栽に関しましては、天龍峡一帯だけではなく、花の里推進活動の一環として拡大を模索して参ります。</p> <p>5. 遊歩道、公園内の整備活動は継続して進めて参ります。</p> <p>6. その他「花の里MAPの作成」「公園の冬季イルミネーション点灯」等々天龍峡の魅力UPとその発信を会員の英知を集めて計画化して参りたいと考えております。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額		416,720円
うち助成金(見込み)		264,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	桜説明用看板代金	231,000円
	培養土、肥料代	105,862円
	菜の花種代	30,000円
	その他	49,858円

取組名称	県地区での有休農地の解消
団体名	県農地耕さくらぶ
代表者氏名	木下 周次
地区名	県地区

取組みの目的	農家の高齢化、就業者不足から飯田市並びに私たちの地区の県でも遊休農地が急増しています。遊休農地を少しでも減らし、地域の環境、景観を守り、次世代につなげていきたい。
具体的内容	遊休農地にて、水田を作り遊休農地をなくしていきたい また、昨年まで作っていた水田を高齢化などの理由で作付けできなくなった場合のお手伝いをする 昨年から引き続けている水田 60aにプラスして18a増やし78aで実施 作業賃を出席者には配分してモチベーションを上げ、継続可能な団体へと進化させる 販売先の確保を行う



説明 遊休農地の整備(畦波入れ)

説明 水田の代掻き準備など



説明 田植え

説明 稲刈り

取組の経過	令和2年4月7日 新しい有休農地2ヘクタール(20a) 整備(畦波入れ) 4月7日 育苗ハウスづくり 4月15日 籾消毒 4月17日 籾まき 5月18,19、 田起こし・代掻き 5月20日21日 田植え、畦の草刈り (草刈りは1か月おきを目途に生え次第実施9月まで) 9月23,25日稲刈り 9月24,26日籾摺り脱穀 9月27日以降販売
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ●78aの遊休農地をお借りし、すべてを水田としてお米(コシヒカリ)を栽培することができ、遊休農地の削減に寄与できた。 ●遊休農地は水田の状況も悪いものもあり収穫量は60俵ほどでしたが、一定の終了を確保できました。 ●お米は太陽米穀をメインにすべて販売し、クラブ員への作業費をお支払いできるような状況にできた。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●78aの遊休農地を引き続き行うことで遊休農地を増やさないようにします。 ●水田の補修で収益性のある水田へとします。 ●収益性を高め十分なクラブ員への作業費の配当をする。 ●作業効率を高め、担う遊休農地を増やしていきたい。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		1,250,000
うち助成金(見込み)		300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	種子、農薬、肥料、畦波、機械リース代	930,000
	日当	320,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	ムトス飯田助成事業
団体名	米川桃源郷プロジェクト委員会
代表者氏名	小嶋 和明
地区名	千代地区

取組みの目的	『ここに住んで良かったと思える地域づくり』を目標として、米川地区の盆地形状と里山のあ る風景を活かし「春には桜・つつじ」「秋にはもみじ・楓」が里山の緑の中に映え、子供たちの記 憶に残る故郷を作ろうと思い活動をしています。
具体的内容	10年前より地主さんの許可を得ながら里山との境界線に、桜・つつじともみじ・楓を将来の景 観をイメージしながら三本寄せ植えと言う植え方で植樹を場所を変えながら毎年してきました。 三年目からは米川廣幡八幡神社の表参道と米川城平公園周辺を特に整備させて頂き、年三 回の草刈りを地区民の協力を頂きながら管理運営をしています。



説明 米川廣幡八幡神社参道草刈



説明 米川城平公園周辺草刈



説明 あやめ・花菖蒲植栽



説明 紅葉植樹

取組の経過	今までは、各方面より頂いた枝垂桜、大山桜やみつばつつじ等の春の花々を中心に植栽をしていました。一昨年度からムトス飯田助成金を使わせて頂き、秋の花々であるイロハモミジの植栽を強化させて頂いております。また、県道沿いの休耕田を活用しあやめと花菖蒲を植えております。今期の植栽は令和3年3月に植栽します。
取組の効果	徐々にですが、植栽した草木が季節に応じて咲き出し、地区住民にも見てもらえる機会も増え楽しんで頂いておりますが、まだまだ十分ではありません。「春には桜・つつじ」「秋にはもみじ・楓」が里山の緑を背景に映える景観が定着していけば地区民にさらに喜んでもらえる名所になってくると思います。また、休耕田をあやめ園や花菖蒲園として、活用出来れば、こちらも地区の名所になってくる事と思います。さらに米川地区が桃源郷のような故郷になる事により、子供たちの記憶に刻まれこんなところに住みたいと思えるようになっていくと思います。
今後の取組	単年では結果が出るものではないので根気よく継続していきたいと思います。ただ今年の異常気象で雑草が異常に伸び除草にかなりの時間を要しました。これを教訓として、これからは植栽時に除草シートを使い草刈作業の軽減を図っていききたいと思います。今回試験的にもみじの植栽事業で大きめの苗を1㎡の除草シートを使い植樹しました。さらに、3月植栽予定のあやめ・花菖蒲も除草シートを使用したいと思います。これからは除草シートを一昨年・昨年の分にも使用していき、草刈事業の作業軽減化を図っていききたいと思います。そして、三遠南信道全線開通やリニア新幹線開通までに「米川桃源郷」を完成したいと思います。今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		503,800
うち助成金(見込み)		300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	植栽代(イロハモミジ・あやめ・花菖蒲)	476,850
	除草シート他	26,950

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	2020 第一回ネクストステージ交流大会
団体名	プロ野球選手を招く会 ・ 飯田市指導者協議会
代表者氏名	池田 大介
地区名	飯田市

取組みの目的	野球人口の減少の中、コロナウイルス感染拡大に伴い、野球できる環境が自粛され我慢の年となりました。ほとんどが自粛をあきらめている中、なにかしてあげられることがないかと考え、飯田市で野球をやっている子供たちの為に企画しました。飯田下伊那の子供達が夢や希望や野球の楽しさを再認識し、日常生活やチーム活動が充実・活性化することを目的とする。
具体的内容	子供たちが中学、高校と繋がるよう、今回はコロナウイルスの感染対策を考え6年生を対象とし、進学中学単位での交流戦を行いました。計6中学。 飯田市で活動している少年野球チーム13チームがそれぞれの進学中学6校に分かれ交流戦を行う。閉会式にはすべての子供たちへ記念メダルを各チーム指導者より授与した。 審判では、日ごろ保護者が審判やボールボーイをしています、今回は中学硬式野球クラブチームの飯田ボーイズさんの子供たちに協力していただき、保護者にはゆっくり試合を見ていただく環境としました。



説明



説明

写真

写真

説明		説明	
----	--	----	--

取組の経過	2019.2.10プロ野球選手を招く会発足、2019.12.14野球教室開催。 2020プロ野球選手を招き野球教室をしてあげる予定でしたが、県外からこの時期に講師を呼ぶことへの理解を得ることは難しいと考え、協力団体とも協議を積み重ね、何かしてあげようと12月13日にネクストステージ開催を決めました。コロナウイルス感染拡大に伴い学校も休校、野球ができる状況がなくなりました。感染防止対策をし、我慢を1番してきた子供たちの中でも、最上級生6年生に対して行うこととしました。
取組の効果	参加された子供、保護者、指導者の笑顔がいっぱいになったことや、大人からは涙が出た、ワクワクした、楽しかった、また来年もやってくれるようなら協力したいなどのお声も頂きました。子供たちは日ごろ敵チームとして戦ってきた仲間と一緒に野球ができる楽しさや、緊張感もありましたが、メダル授与では、嬉しそうにメダルを掛け記念撮影をチーム同士や親御さんと嬉しそうに撮る姿をみて、大成功だったと思います。
今後の取組	コロナウイルス感染の状況を見て、大人が感染防止対策をしながら、何かしてあげられる事はないかと考え、実行していきたい。コロナウイルス感染が収束の時には、野球教室もやっとうと思います。日々変わる状況の中、何もしない選択はしないよう、今の子供たちの青春を、今しかない思い出を創っていつてあげたいと思います。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		142,339
うち助成金(見込み)		142,339
主な経費内訳 (上位3項目)	記念品メダル	92,500
	備品購入、謝礼、印刷代等	36,239
	会場費	13,600

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

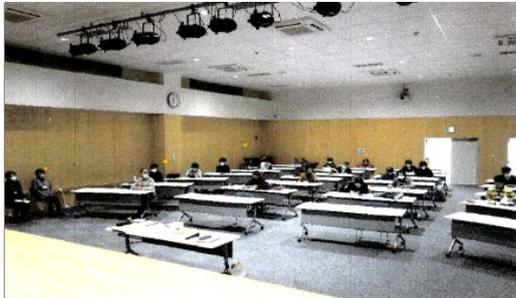
(ふりがな)	いなだにしぜんとものかい		
団体名称	伊那谷自然友の会		
(ふりがな)	なかむら たかとし		
代表者氏名	中村 貴俊		
設立年月日	昭和 60 年 11 月 日		
ホームページ			
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伊那谷を中心に、自然探索の生き物ツアーとジオツアーを通年実施しています。 ・ 生物・地質・環境の分野で自然講座と講演会を、美術博物館内で通年実施しています。 ・ 年間6回、16頁、一部カラーの友の会報を発行し、自然に関する情報発信をしています。 ・ 会員が個人やグループで地域の自然を調査研究し、その成果を発表しあっています。 ・ 伊那谷の自然の保護や保全のために、研修を行ったり情報交換や情報発信をしています。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲ジオツアーの様子(2020年6月6日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲総会講演会の様子(2020年9月12日)</p> </div> </div>		
PRしたいこと	<p>伊那谷自然友の会は、会員が約900名いて、生物・地質を中心に、それぞれが興味関心のある分野のツアーや講座に参加できます。年間6回発行される16頁(一部カラー)の会報を見るだけでも、自然へ引き込まれる楽しさがあります。年会費2000円で気軽に入会できます。</p> <div style="text-align: right;">  <p>▲会報「伊那谷の自然」</p> </div>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	伊那谷の自然に関する団体やグループなどと共催し、生き物ツアーやジオツアー等を行うことができます。また、会員以外でも個人的にツアーや講座に参加できます。お気軽に相談したり申し込んで下さい。		
困っていること	会員約900名の大きな団体ですが、年々会員が高齢化してきて、会員の減少傾向にあります。大いに入会を願っています。また、本年度は、コロナの影響で観察会のほとんどが実施できないでいます。感染対策をどう整えて観察会を実施していくか検討中です。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	年会費2000円、年間会報6回発行、自然ツアーや講座への参加は自由で、特に制約はありません。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

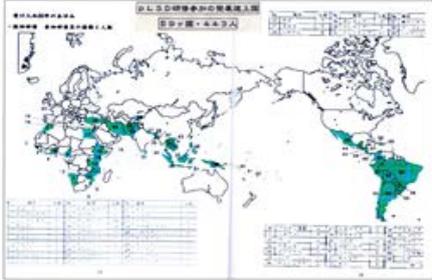
(ふりがな)	かざこしやまをあいするかい		
団体名称	風越山を愛する会		
(ふりがな)	やました もりひろ		
代表者氏名	山下 守弘		
設立年月日	昭和61年5月14日		
ホームページ	www.mis.janis.or.jp/~hilasawa/		
活動内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>5月24日 風越山ゴミ拾い</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>10月3日 観月の夕べ</p> </div> </div> <p>登山道および案内板の整備を通じた環境保護。イラストマップの販売や会員通信「風のたより」発行・ホームページを通じての風越山のPR活動。地元まちづくり委員会を含めた各種団体、小学校と連携した風越山学習会、登山への参画、登山マラソン・白山社開山祭への協力、観月の夕べの実施、風越山の自然・歴史、文化ガイド、学習会を通じての歴史・文化の保護。笠松山、吉田山、摺木山などへの近隣登山、加賀の白山遠征登山など、風越山の魅力や登山の楽しさを感じていただけるような活動をしています。</p>		
PRしたいこと	<p>風越山は飯田市のシンボルとして親しまれています。歴史をひもとくと、古くは霊山としての信仰の拠り所となってきた山であり、今もその凜々しさを感じることができます。また、四季折々の表情の変化によって私たちを楽しませてくれる、懐の深い山でもあります。私たちは、会員だけでなく、多くの方々にこの風越山の魅力に触れていただくために、楽しく和気あいあいとした雰囲気をもっとに活動しています。みなさんとの出会いが、風越山を通して広</p> <div style="text-align: right;">  <p>8月10日 山の日登山</p> </div>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>私たちは、いつも飯田市の暮らしに寄り添ってきた風越山を守り、その魅力を感じていただくための活動をしています。そのためには、自然環境や歴史、文化を守り、語り伝えていく必要があります。そのため、まちづくり委員会をはじめ、幅広い団体と連携し様々な活動していくことができると考えています。風越山に少しでも興味のある方、団体は、是非お声かけください。</p>		
困っていること	<p>風越山が誇る独自の自然形態や、守り伝えられてきた歴史・文化を次世代に残していくために、是非とも幅広い年齢層の方に活動に参加していただきたいと思っています。特に若い世代のエネルギーやアイデアを「風越山を愛する会」に加えていただくことができたら幸いです。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>私たちは、たくさんの方々に風越山の魅力を感じていただくために活動しています。老若男女問わず、幅広い方々に参加していただきたいと思っています。少しでも興味のある方は是非ご入会ください。</p>
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>風越山の登山道の整備や、自然・歴史のガイドのお手伝いなどをお願いしたいと思います。是非お声かけください。</p>

(ふりがな)	いいだしょうねんしょうじょがっしょうだん		
団体名称	飯田少年少女合唱団		
(ふりがな)	しょうじひろえ	どいひろこ	
代表者氏名	指導者：庄司 裕江 ほか 保護者会長：土居 博子		
設立年月日	1989 年 7 月 1 日		
ホームページ	facebookで活動を公開中。「飯田少年少女合唱団」で検索してください。		
活動内容	<p>令和2年度は、コロナ禍のため、残念ながら大きなステージでの発表はできませんでしたが、例年、長野県少年少女合唱祭や、伊那谷文化芸術祭などに参加しています。今年度は、コロナ禍の中、感染対策を徹底しながら練習してきました。年間を通して、毎週土曜日16時～18時(分散練習、時間短縮練習もあり)、主に飯田文化会館で合唱曲の練習やリミックを行っています。例年、イベント等への出演依頼もあり、夏合宿も行います。今年度は、保護者を前にクリスマス発表会を行いました。</p>  		
PRしたいこと	様々な趣味をもったり、合唱とは別の学校の部活動に入っていたりしますが、『歌うことが好き』という点で共通した団員が「歌うこと」を共有しています。学年も学校も越えた仲間とのハーモニーを奏でてみませんか？		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	地域の子供たちや、他の合唱団体との練習や共演などを通じて、歌うことの楽しさを共有できるようなイベントができればと考えています。		
困っていること	ここ数年、団員数が減少傾向にあることです。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	5歳～高校3年生(保護者の送迎が可能な人) 入団金2000円、月会費小学生以上3000円、小学生未満2000円
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	いいだ かんこうがいの の かい		
団体名称	飯田観光ガイドの会		
(ふりがな)	みやざわ としお		
代表者氏名	宮澤 俊夫		
設立年月日	平成 8年 10月 21日		
ホームページ			
活動内容	 <p style="text-align: center;">ガイドの様子</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 観光案内 ①丘の上ガイド ②しらびそ高原～下栗の里案内 ほか 2 月例会の座学・現地研修による観光案内スキルの向上 3 観光ガイドの会パンフレット「案内人と歩く城下町飯田」の発行および配布 4 やまびこマーチ「おもてなしコース」「案内人と歩く5Kmコース(赤石コース、風越コース)」のご案内 5 りんごん翌日の清掃活動への参加 		
PRしたいこと	<ol style="list-style-type: none"> 1 飯田、下伊那地区の観光案内は、ご依頼があればどこでもご要望にお応えできるように準備しています。是非お声をお掛け下さい。 2 生活している場所でも、案外知らないことが多くあります。一度案内人と一緒に住み慣れた地区を歩いてみませんか、思わぬ発見があるかも知れません。 3 ご案内はお一人様から団体様まで可能です。お申し込み窓口は飯田市観光課 (TEL 0265-22-4852 FAX 0265-22-4567)です。ガイドのお申し込みは希望日の1週間前までをお願いします。 		 <p style="text-align: right;">現地研修会の様子</p>
他団体との連携が可能なこと・したいこと	各団体が企画するイベントなどで観光ガイドを実施したい。		
困っていること	<ol style="list-style-type: none"> 1 飯田観光ガイドの会をもっと活用していただきたい。 2 会員数の確保・増員が難しく、案内依頼が集中した場合の対応が柔軟にできない。 		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<ol style="list-style-type: none"> 1 飯田・南信州に愛着のある方で、ご案内する事に興味があり、かつウィークデーの日中にもガイドが可能な方。 2 年会費は1,000円となります。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

（ふりがな）	いいだこどもげきじょう		
団体名称	飯田子ども劇場		
（ふりがな）	ふじた ゆか		
代表者氏名	藤田 由香		
設立年月日	1973年 12月 1日		
ホームページ	http://iidakogeki.web.fc2.com		
活動内容	<p>子どもたちの感性・創造力・生きる力を育むために、以下の活動を行っています。</p> <p>◎定期的な舞台鑑賞 舞台劇・人形劇・音楽・芸能など、様々なジャンルの舞台を、年齢に合わせて鑑賞しています。</p> <p>鑑賞をきっかけに、視野を広げたり、子どもの自主性を育てる活動を行っています。</p> <p>・終演後のバックステージツアー・当日の会場の飾りつけ・出演者との交流会 鑑賞会のあいさつや受付なども、子どもも大人も一緒に行います。</p> <p>◎キャンプ、おまつり、季節の行事など、子どもの自主的なかわりを意識した活動 写真は『秋のやんか村』。釘や金づちを使って工作。拾ってきたどんぐりを入れてオルゴール作り。</p>		
	 		
PRしたいこと	<p>皆で考えて、今できることをやっています。 これまで、大勢集まって鑑賞していた舞台は、複数回に分けて、家族単位で鑑賞。 参加できなかった人は、別の機会に集まれる催しを作ったりして、気持ちのつながりがなくならないように。</p> <p>写真は、9月の舞台鑑賞会。終演後に役者さんと記念写真。いつもなら、みんな集まるけれど、今年は離れたままでハイチーズ！</p>		
			
他団体との連携が可能なこと・したいこと	舞台鑑賞会の、共同開催。		
困っていること			
会員募集（募集の場合は○、しない場合は×）	○	条件等	赤ちゃんからどなたでも。
ボランティア募集（募集の場合は○、しない場合は×）	○	条件等	

(ふりがな)	ろうどくほうしのかい こえのわ		
団体名称	朗読奉仕の会「声の輪」		
(ふりがな)	なかむら ちよこ		
代表者氏名	中村 千代子		
設立年月日	昭和57年 4月		
ホームページ			
活動内容	 <p>毎月開催の例会 於：上郷公民館</p>  <p>自宅での朗読</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会員個人が、日常的に自宅にて録音図書の製作にあたる。昨年度1年間に出来上がった録音図書は、文学、郷土資料など80冊。他に新聞や郷土雑誌「伊那」などを毎号音訳。 2. 利用者の方々に向けて、完成本の紹介などを収録した「声の輪だより」を作成。毎月1回発送。 3. 会員の技術向上を目指し、毎月例会を開き、研修を重ねる。 		
PRしたいこと	<p>デジタル化が進み、お聴きになりたい本は全国から選べますし、「声の輪」製作の録音図書も全国の希望者に聴いていただいています。</p> <p>視覚障がいのある方に限らず、通常の読書がしにくい方など、是非多くの方に利用していただきたいです。</p>  <p>毎月開催の例会 於：飯田市立中央図書館研修室</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること	<p>現在、長く続けてきたベテラン会員が多く製作している。次の世代を担う若い会員が多数育つのを期待している。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	1年間養成講座に参加した後、会員として登録。さらに1年の研修を行って製作に参加していく。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	ふうどしや		
団体名称	ひさかた風土舎		
(ふりがな)	はせべ みひろ		
代表者氏名	長谷部三弘		
設立年月日	1991 年 5 月 1 日		
ホームページ			
活動内容	 <p>①特産品開発…ワイン・清酒の委託醸造、雑穀・こんにゃくの栽培奨励、手芸工房の開設 ②学習文化活動…ひさかた通信の発行、鎮守の杜寺子屋の開設 ③交流活動…日本福祉大学大濱ゼミ、京都大学農学部学生自治会、JICAのPLSD研修の受け入れ、途上国の海外支援</p>		
PRしたいこと	<p>海外途上国支援と交流 (JICAのPLSD研修の受け入れ)</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	飯田・交流と学びの会		
困っていること	特別になし 会員の高齢化		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	会費納入 (6,000円)
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	くろだにんぎょうほぞんかい		
団体名称	黒田人形保存会		
(ふりがな)	やまだ よしきよ		いつぼ しろう
代表者氏名	黒田人形保存会会長 山田 善清		黒田人形座座長 井坪 司朗
設立年月日	元禄年間(1688~1703年)から300年余り続いていると言われている。 昭和28年(1953年)に黒田人形保存会を結成。		
ホームページ	http://www.city.iida.lg.jp/puppet/kuroda/		
活動内容	  <p>黒田人形は、1体の人形を3人で操る三人遣いで、300年余り続いていると言われている伝統人形芝居。人形遣い・太夫・三味線が三位一体となって演じる。淡路の昔の技を伝承されていて国選択無形民俗文化財に指定されている。郷土に伝承されている伝統芸能を更に伝承していくのが保存会の活動。人形を動かす人形遣い、義太夫を語る太夫、その伴奏を弾く三味線、撮影その他裏方。下黒田諏訪神社春季禮祭奉納上演(本祭り毎年4月第2日曜日午後1時から宵祭り前日午後6時から)。いいだ人形劇フェスタ。伊那人形芝居公演(四座発表会)。依頼があれば主張上演も行。特に寿式三番叟は、芝居の幕開けに上演される祝儀の演目であり、五穀豊穡を祈る。江戸後期天明年間(1781~1788年)淡路から黒田に来て人形を教え、黒田の太念寺に眠る吉田重三郎が伝えたといわれている。</p>		
PRしたいこと	<p>黒田人形舞台(指定名称「下黒田の舞台」)は、天保11年(1840年)に再建された人形舞台。本格的な構造・規模・歴史が揃っていて、人形舞台として全国で第1号の国指定重要有形民俗文化財に指定されている。毎年4月に春季禮祭奉納上演が行われている。黒田人形浄瑠璃伝承館は、平成11年(1999年)に下黒田諏訪神社境内隣接地に、人形芝居の伝承の施設として建設された。収容人員150人本格的舞台、楽屋等に使える控室が5室等あり、各種芸能の練習・発表会に適している。毎年11月には伊那人形芝居公演(伊那谷四座発表会)が行われている。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	今年度は、新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、下黒田諏訪神社春季禮祭奉納上演(宵祭り・本祭り)、いいだ人形劇フェスタが中止で、上演が出来なかった。伊那人形芝居公演は、無観客で実施した。小学校チャレンジ教室では、人形を遣って飯田りんごを踊るように指導をした。高陵中学校黒田人形部では、高陵祭での上演の人形遣いと三味線の指導をした。また高陵中学校黒田人形部は、兵庫県や神奈川県で人形浄瑠璃に取り組む中高生とオンラインをつかった交流会に参加した。		
困っていること	黒田人形座 座員の募集 定例稽古のなかで、黒田人形の技を伝承していくことが難しいこと。 人形を動かす「人形遣い」。義太夫を語る「太夫」。その伴奏を弾く「三味線」。撮影その他「裏方」。黒田人形座座員が少ないこと。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	黒田人形座 座員募集 高校生以上。 定例稽古 正月・お盆休みを除いて、毎週土曜日午後7時から9時まで。 上演・公演に出られること。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

(ふりがな)	こども かがくこうさくきょうしつうんえいきょうぎかい		
団体名称	子ども科学工作教室運営協議会		
(ふりがな)	しおざわ たくや		
代表者氏名	塩澤 卓哉		
設立年月日	平成 5 年 4 月 1 日		
ホームページ	なし		
活動内容	<p>本年度も下記のように年間4回の子ども科学工作教室を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延・予防のため、すべて中止となりました。</p> <p>第1回 6月 プログラミングロボの製作 (中止) 第2回 9月 スペースロボの製作 (中止) 第3回 11月 天体望遠鏡の製作 (中止) 第4回 1月 燃料電池カーの製作 (中止)</p>		
PRしたいこと	<p>飯田下伊那の小学校4年生から6年生までの子どもを対象にして45名定員で行っています。各回のキット代金は個人負担です。10の企業・高校等から指導に来て、個人的な指導をしてくれるので、保護者は同伴しなくても一日じっくり製作し、完成して持ち帰れます。製作したものを動かして遊んだり、天体を観測したりできます。この教室ではもの作りへの興味関心を高めます。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>本年度はすべて中止となりましたが、これまで飯田下伊那の企業と飯田OIDE 長姫高等学校の生徒さんなどが毎回指導に参加してくれています。他にも指導を希望する企業などがありましたら受け入れます。</p>		
困っていること	<p>本年度子ども科学工作教室運営協議会への参加企業が1社増えては10社となりました。さらに参加企業を増やして指導協力をしていただきたいと思います。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	募集はしていませんが、飯田市工業課で受け入れています。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	きざわちくかつせいかすいしんきょうぎかい		
団体名称	木沢地区活性化推進協議会		
(ふりがな)	まえざわ のりみち		
代表者氏名	前澤 憲道		
設立年月日	平成3年 4月 1日		
ホームページ	なし		
活動内容	  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">追手町小学生見学</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">遠山中学生小嵐登山</div> </div>		
PRしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・当協議会は、木沢小学校が休校になった平成3年4月に発足し、今年で30年目を迎えます。地域の活性化を図る為、その後廃校になった木造校舎を活用した各種交流による取り組みを行っています。 ・昔懐かしい木造校舎で日常生活からタイムスリップし、癒しの空間で子供のころの思い出に浸ってみませんか。各教室には各種団体の活動紹介や木沢の歴史的(霜月祭り、森林鉄道など)な展示品による紹介がされています。また、校長として親しまれている猫と教頭の犬もおり、訪れる方をやさしくお出迎えしています。 ・今年度からは、南信州山岳文化伝統の会の顧問である登山家、大蔵喜福氏による「エコ・観光登山」システム構築による遠山郷の地域振興活動も校舎の一室で行われています。 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	他団体が企画・計画する各種交流事業等への木造校舎をはじめとする地域資源の提供(一部有償)		
困っていること	役員の高齢化と後継者の確保		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	会の趣旨に賛同し会則に従って活動できる方で、当会が認めた方(地域外の方でも可)
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	ボランティア活動の趣旨に賛同し参加できる方(活動ごとに募集)

(ふりがな)	きねはらがっこうおうえんだん		
団体名称	杵原学校応援団		
(ふりがな)	いのうえ まさお		
代表者氏名	井上 征雄		
設立年月日	2005年5月		
ホームページ	https://kinehara.com/		
活動内容	<p style="text-align: center;">こども教室 おやす作り</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>○年間を通じて、旧山本中学校、通称「杵原学校」を核にして様々な事業を実施しています。</p> <p>○こども教室開催、農業体験、農場の運営、里山散策、大人向けの勉強会(山本学講座)、南信州観光公社の体験教育旅行受入、その他校舎や敷地内の整備作業も行っています。</p> <p>○今年度は、コロナ禍のため多くの行事は内容を変更した形での開催となりました。</p> <p><子ども教室・農業体験・食文化教室></p> <ul style="list-style-type: none"> ・土器づくり、おやすづくり、おはぎづくり、五平餅づくり、ケーキづくり、さつまいもや大根・白菜の収穫 <p><里山・屋外体験></p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイキャンプ【中止】 <p><地域おこし></p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラフトフェア飯田への協力 ・杵原学校の枝垂れ桜見頃期間の桜まつり(おもてなし活動)【中止】 <p><施設等整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大掃除 		
PRしたいこと	<p>○地域の人が講師になって、経験から生まれた知識を元に、杵原学校を中心にした屋内外活動や自然に触れることからの本物体験を行っています。</p> <p>○同様に地域の伝統、文化の継承を行っていくための活動もしています。</p> <p>○この様な活動を通じて地域の活性化や、地域起こしにつながる活動にしていきたいと考えています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>○個々の取り組み内容では出前の講師対応も可能なものもありますのでご相談ください。</p> <p>○木造校舎の保存、利活用を行っている団体と交流を深めたいです。</p>		
困っていること	<p>○今後、応援団員の平均年齢の高さからくる事業の継続性の問題</p> <p>○若い団員の確保</p> <p>○各事業での講師人数確保</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	時間とやる気のある方歓迎、経験不問。 費用負担は軽微ですが、報酬はほぼ無いので、それでも構わない方、地域外の方でも入会はOKです。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	基本は会員と同様です。 ボランティア即、団員可ですのでお気軽にご参加下さい。 会則、会費などの複雑な縛りはありません。

(ふりがな)	みなみしんしゅういーだおもしろかがくこうぼう		
団体名称	南信州飯田おもしろ科学工房		
(ふりがな)	みうら ひろこ		
代表者氏名	三浦 宏子		
設立年月日	平成13年 6月		
ホームページ	https://i-kagaku.net/		
活動内容	 <p>令和1年度 活動実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科実験ミュージアム(34回実施 2,559名参加)(コロナ対策のため7月から週1で開催) ・出前工房(31回実施 2,566名参加) ・幼稚園、小学校等の支援活動(41回実施 1,382名参加) ・科学実験教室(15回実施 1,077名参加) 		
PRしたいこと	<p>南信州飯田おもしろ科学工房は、飯田市出身のサイエンスプロデューサー(故)後藤道夫先生の「故郷飯田の子どもたちに科学の楽しさと不思議さを知ってもらいたい。科学を好きになってもらいたい。」という想いから始まりました。</p> <p>かざこし子どもの森公園おいで館を拠点に、理科実験ミュージアムや学校や公民館への出前工房などを開催しています。子どもも大人も楽しめる実験を目指し、また科学をより身近に感じてもらうため、身のまわりにあるものを使った理科実験や工作の指導、実演を行っています。</p> <p>日常のあつと驚く不思議な体験や感動を通じて、子どもたちには考える力や科学の興味を、楽しさを知った大人には科学を通じた地域活動の輪を広げてもらえるよう、地域を活性化していく一助になりたいと思います。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	地域の企業や高校、公民館などと連携しながら科学の輪を広げていきたいと考えています。		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	理科や科学が好きな方、子どもが好きな方なら特に資格は問いません。

（ふりがな）	おみのさとしんこういいんかい		
団体名称	麻績の里振興委員会		
（ふりがな）	つつい せいいつ		
代表者氏名	筒井 誠逸		
設立年月日	平成 11年 4月 1日（平成16年再編成）		
ホームページ	座光寺	で検索	http://zakoji.jp
活動内容	<p>座光寺地域中段には元善光寺・高岡1号古墳(県宝)・麻績学校舞台校舎(県宝)・南本城(県史跡指定)・麻績の里舞台桜(市天然記念物)・石塚桜(石塚古墳の上にあり)さらに恒川官衙遺跡(国史跡指定)等文化遺産が集積している。これらの文化遺産ゾーンを保護活用して地域振興のため、地域住民が自ら行動することを基本に座光寺地域自治会の特別委員会として4班編成で活動を展開してきた。</p> <p>具体的内容: 主な内容として、 1班: 元善光寺・元善光寺・高岡1号古墳(県宝)・麻績学校舞台校舎(県宝)・南本城(県史跡指定)・麻績の里舞台桜(市天然記念物)・石塚桜(石塚古墳の上にあり)さらに恒川官衙遺跡(国史跡指定)等文化遺産が集積している。これらの文化遺産ゾーンを保護活用して地域振興のため、地域住民が自ら行動することを基本に座光寺地域自治会の特別委員会として4班編成で活動を展開してきた。</p> <p>2班: 南本城の山林間伐・遊歩道の草刈・史跡案内看板等の整備 3班: 麻績舞台校舎の活用と舞台桜保護と周辺整備 4班: 南信州を軸とする竹宵による地域活性の展開</p>		
	   		
PRしたいこと	<p>『自ら考え自ら行動する麻績の里づくり』を合言葉に地域の有志ボランティアで活動を継続している。会員の職業も様々で事業においては参加できない時もあるが強制的な召集はしていない。活動にあたっては“自分たちが楽しみながら地域を盛り上げる”が継続の力となっている。</p> <p>☆座光寺のホームページをぜひご覧ください☆</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>今後はリニア建設・開通に伴い、様々な地域状況や生活の変化が生じ、なにより長野県の玄関口として県内県外大都市から人の往来により、広範囲な交流・国際化が想定される。そのような変化を機として座光寺地域の魅力を発信し地域振興のため、従来からの活動の継続と充実はもとより、新たな発想で新たな活動および組織柔軟な対応が必要となる。それらを課題とした他団体との意見交換や交流を行いたい。</p>		
困っていること	<p>会員は年代が殆ど50代以上の男性であり、若年層や女性の加入が課題</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	地域会員を基本とする
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	大変な作業を笑顔で出来る方

(ふりがな)	しゃかいいりようほうじん りつざんかい いいだびょういん		
団体名称	社会医療法人 栗山会 飯田病院		
(ふりがな)	はら しげき		
代表者氏名	理事長 原 重樹		
設立年月日	明治36年 9月 1日(1903)		
ホームページ	http://www.iida.or.jp		
活動内容	 <p>当病院は、病院理念の具現化として「医と文化の融合」を掲げ、各種の文化事業に取り組んでいます。特に一流の演奏家を招いて病院エントランスホールで毎月1回行う「ロビーコンサート」は、非常に好評を博しており、さらにロビー空間への絵画・写真作品などの展示活動等は「公開」の精神に貫かれております。</p> <p>また、最先端精神科医療を学ぶ「精神科公開ゼミ」、院内での事例研究発表を行う「飯田病院学会」などの活動も活発に行っています。</p> <p>病院そのものを地域におけるアメニティー空間として一般に開放するなど、文化による「交流」の場を地域に創出しています。</p> <p>(※上記、ロビーコンサートと公開ゼミの取組みは、新型コロナウイルス感染対策で開催を中止しています。)</p>		
PRしたいこと	諸活動の中でも特に病院ロビーをコンサート会場として使用し、入院患者さんをはじめ来院者が、一流の演奏家による生の音楽を無料で気軽に楽しむこと出来る「ロビーコンサート」は、毎月1回、原則として土曜日に開催しております。2020年は、新型コロナウイルス感染対策で開催を中止していますが、市民の皆様から高い評価をいただいております、新型コロナウイルスが終息ししだい再開をめざして準備をしています。		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	特になし		
困っていること	特になし		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	おおみやとおり さくらほぞんかい		
団体名称	大宮通り桜保存会		
(ふりがな)	いのうえ もとし		
代表者氏名	井上 基		
設立年月日	1971年 4月 1日		
ホームページ	ふるさと納税特設サイト東野にUP		
活動内容	  		
PRしたいこと	<p>『地域の人が喜んでくれる事。この街を訪れたいと思ってくれる人が増える事。そして、この街に住みたいと思えるような町になる事。復興のシンボル、りんご並木・桜並木を大切に、伝統文化を継承し、人にやさしい町である事。』が我々保存会の役割です。</p> <p>キャッチフレーズは ”古老桜も 彩り豊か 後世に引き継ぐ東野の心” 大宮通り桜保存会</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>既に今年度は橋北さんからイルミネーションのご支援を頂きました。</p> <p>ノウハウ、購入方法、デザイン等をご教授頂きました。</p> <p>両地区の懇談会、橋北イルミネーションの飾付手伝い等を行っていました。</p>		
困っていること	<p>大宮通り桜並木700メートル全体～大宮神社～ポケットパークをイルミネーションで彩る構想をしている。費用見積をしたが、資金が無く、少しずつ増やすしかない状況。</p> <p>地域の高齢化も進んでいるため、あと2年間ほどでやりたいと考えており、何とかできないか悩んでいます。</p>		
会員募集 (募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集 (募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	

(ふりがな)	ちいきぐるみかんきょうあいえすおーけんきゅうかい		
団体名称	地域ぐるみ環境ISO研究会		
(ふりがな)			
代表者氏名	—		
設立年月日	1997年11月（設立時の名称は「地域ぐるみでISOへ挑戦しよう研究会」）		
ホームページ	https://www.city.iida.lg.jp/site/kankyouseisakujuhou/isokenkyuukai.html		
活動内容	 <p style="text-align: center;">研究会参加事業所の実務者全体</p>		 <p style="text-align: center;">ISO 14001規格改訂内部監査員養成</p>
	<p>研究会の「活動理念」は、地域の自然を残し、持続可能な地域づくりのため、新しい環境改善の地域文化を創造する。参加事業所それぞれの枠を超えた活動を展開し、「点」から「面」を合言葉に、地域全体で環境改善活動を展開することを視野に入れて活動している。</p> <p>(1)ISO 14001の認証取得・継続審査の相互支援 (2)従業員・職員を通じての環境意識の向上 (3)地域独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」の構築・普及 (4)温室効果ガス削減に向けた省エネ等対策の普及 (5)講師を招聘してのISO関係の研修会の開催 (6)市の環境行政への支援</p>		
PRしたいこと	<p>・年々顕在化してくる環境問題に対し、地域内の事業所同士で課題を共有しつつ、将来にわたり持続可能な事業活動を行うべく活動を1997年から20年以上行っている。パリ協定やSDGsが社会実装される中、行政の環境政策のエンジン役としての活動はもちろんのこと、従業員を通じた社会変革の一翼を担っている。</p> <p>・現在71事業所で運用されている中小・零細事業所向けの地域独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」は、研究会が構築・審査・支援を行っている仕組みである。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>・地域全体への省エネなど環境一斉行動週間への参加の呼びかけ ・講師を招聘してのISO・環境関係の研修会への参加のよびかけ ・研究会主催や飯田市との共催による環境講演会やセミナーへの参加呼びかけ ・ESG金融の普及を見据えた地域内におけるSDGsへの取り組みの検討</p>		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	研究会の活動理念や活動内容に賛同でき、ボランティアな活動に関われる事業所
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	研究会そのものがボランティアな活動を行う組織であり、「南信州いいむす21」の審査・支援など研究会会員事業所の実務者等によりボランティアな活動によって進められている。

(ふりがな)	ゆめくらぶ		
団体名称	夢くらぶ		
(ふりがな)	ひよし たかゆき		
代表者氏名	日吉 隆幸		
設立年月日	平成 18年 4月 1日		
ホームページ	shimokitadreamclub.web.fc2.com		
活動内容	 <p>6月28日 春のフルーツライン清掃 7月21日 献血奉仕活動 【受付者数67名 献血者数63名 9月20日 秋のフルーツライン清掃</p>		
PRしたいこと	<p>自分達の夢、やりたいことをメンバーと語り実現することが、結果的に地域への貢献や仲間づくりに繋がっています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	下黒田北地域に在住の方、もしくは地区内にお勤めの方。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	しんしゅう しぜん		
団体名称	特定非営利活動法人 信州自然エネルギー		
認証年月日	2016年 2月 15日		
(ふりがな)	はやし そうきち		
代表者氏名	林 宗吉		
主な事務所の所在地	飯田市龍江4299イ		
ホームページ	—		
主な活動分野	ソーラーシェアリング 無農薬農業		
活動内容	ソーラーパネル下でのブルーベリー栽培 		
PRしたいこと	飯田市でのソーラーシェアリング第一号  		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	なし		
困っていること	なし		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	みどりのそよかぜ		
団体名称	特定非営利活動法人 緑のそよ風		
認証年月日	2015年 7月 21日		
(ふりがな)	はやし そうきち		
代表者氏名	林 宗吉		
主な事務所の所在地	飯田市龍江4299イ		
ホームページ	—		
主な活動分野	マリンバ演奏		
活動内容	無料のマリンバ演奏を提供		
			
PRしたいこと	音響機器を使わず、生の音を聴いていただく		
			
他団体との連携が可能なこと・したいこと	なし		
困っていること	なし		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	とらいわの ぶんかざいを まもるかい		
団体名称	虎岩の文化財を守る会		
(ふりがな)	いけだ けんいち		
代表者氏名	池田 健一		
設立年月日	平成27年6月14日		
ホームページ			
活動内容	<p>今年春からのコロナ禍があつて、2月に咲いたザゼンソウの見学会は雨にも祟られ、旧瀧澤医院での「ひさかた温泉」を追憶し、併せて企画したゆかりの画家:赤羽根一司画伯の墨絵展など外来者対象の事業は壊滅状態だった。</p> <p>しかし、草刈りや雑木伐採などの保存活動そのものはすべて計画どおり実施できた。桜植栽など地元紙が多く取り上げてくれ、嵯峨坂では初夏のワスレナグサの写真が信每一面に掲載されたこともあつて多くの来訪者があつた。そこで急遽駐車場に看板や手洗い場を整備。ザゼンソウ自生地までの、棚田ゆえ階段が続いていたアクセス道の平坦化を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>旧瀧澤医院大石垣雑木伐採作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>嵯峨坂ざぜん草自生地周辺草刈り作業</p> </div> </div>		
PRしたいこと	旧瀧澤医院に関しては、まだまだ不十分ながらも特異な擬洋風病棟だけが注目されてきた。だが大石垣は飯田城どころではなく飯伊随一の規模だし、土蔵や水場・薬草園跡など明治期の田舎医院の遺構として価値が大きいと感じる。残念ながら病棟や味噌蔵・馬屋は更地となってしまったが、いずれ復元して広大な史跡公園としての再生を祈念している。一見の価値はあるのでぜひ出かけていただきたい。		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	特になし		
困っていること	会員の高齢化と活動資金の不足		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	文化財の保護保全に理解を示し物心いづれでも支援頂ける方
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	文化財に興味関心をもち活動の意義に賛同される方

(ふりがな)	まるやまいしがまぶ		
団体名称	まるやま石窯部		
(ふりがな)	たなか ひであき		
代表者氏名	田中 秀明		
設立年月日	平成29年4月9日		
ホームページ			
活動内容	  <p>○会の目的 石窯を活用して「交流の場」をつくり、自らの学びと豊かな地域づくりに寄与すること</p> <p>○具体的な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石窯の補修、環境の整備 ・地区内外の人との交流事業 ・石窯を活用した料理の研究 		
PRしたいこと	<p>石窯を利用した交流会を定期的に行い、親睦を深めています。</p> <p>石窯で作った料理は絶品です。当会に入会し、ぜひ一度食べてみてはいかがでしょうか。</p>		 <p>石窯で作った料理</p>
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>石窯を使った料理の研究</p> <p>石窯料理を通じた交流会</p>		
困っていること	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的知識をもった人の不足(石窯保守整備・石窯料理) ・継続的な取り組みになるような組織作り 		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	

(ふりがな)			
団体名称	ひろば「おいでなんしょ」		
(ふりがな)	なかむらみつこ		
代表者氏名	仲村 光子		
設立年月日	2014年 秋		
ホームページ			
活動内容	 <p>いつも5月実施の竹巻パン集会を中止して、3月のコンサートを5月に延期したが実施できず。コロナ禍でも田植えなどの農作業はいつもどおり出来た。あきらめかけていたコンサートを、元資材置き場を借りて7月に開催できた。50人ほどの参加があり、大好評だった。また、地域の祭りも中止となるなか、花火の集いを初めて開催、手持ち花火を中心に思い切り楽しんだ。昨年できたじゃがいも料理の会は中止となったが、焼き芋集会和餅つき集会是对策を取りながら、美味しく楽しめた。</p>		
PRしたいこと	<p>障害のある方が活動に参加する中で、絵や文章を書いたり、もぐらのかかしを作ることに繋がった。我が子に農作業を体験させることができる、障害のある子どもを地域で知ってもらう機会になっているなど、参加することに意義を感じてもらっている。みんなで農作業することやイベントを楽しもうとする会である。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歌のグループと一緒に歌の集いをしたいです。 ・有機肥料・無農薬の農作業のご指導して下さる団体と連携したいです。 		
困っていること	<ul style="list-style-type: none"> ・力仕事や田畑の草取りなど、手が足りない。 ・イベントを企画する場合、アイデアや呼びかけ方など、複数の知恵が必要と感じる。 		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち、障害のある方、高齢者大歓迎。 ・イベントや農作業などを楽しみながら参加可能な方。 ・話し合いの場で前向きに知恵を出したり協力できる方。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの準備や後片付け、イベントにも参加可能な方。 ・農作業を楽しめる方。餅つきのつき手。

(ふりがな)	なごくまみつびしろうねんだん		
団体名称	名古屋三菱壮年団		
(ふりがな)	かわかみ けんじ		
代表者氏名	川上 賢治		
設立年月日	1920年 大正9年 2月		
ホームページ			
活動内容	 <p style="text-align: center;">稲井学校</p>  <p style="text-align: center;">2019集合</p>  <p style="text-align: center;">夏祭り</p>  <p style="text-align: center;">名古屋獅子舞</p>		
PRしたいこと	<p>私達、名古屋壮年団は大正9年の創立から、2020年2月100周年を迎えました。先人の皆さんが鼎町壮年団ができる以前から地域の若い仲間が集まり、獅子舞、夏祭り、ボランティア活動の元となる基盤を作っていました。昨年記念誌を発行する中で、過去の歴史を学び、今後未来へ繋いでいけるよう団員が一つにまとまりました。今現在の様々な活動を楽しみ取り組んでいます。特に、名古屋獅子舞は一見の価値あり。また子供たちと行う稲井学校や夏祭り、運動会も地域の皆さんと共に盛り上げ、活気ある名古屋を作っています。100年続く活動をさらに先へ繋げられるよう頑張ってい参ります。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>地元のボランティア活動の他にも、隣接する地域と一緒に活動は可能です。また、獅子舞を通して県外、県内へ飯田下伊那のPRを行ってきた実績があります。活気ある舞でPR活動ができます。</p>		
困っていること	<p>現在、多くの活動が自粛になり団員の交流が少なくなり、士気も下がってきています。若く新しいメンバーを増やして元気を取り戻したい。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>鼎地区または名古屋区にお住いの20歳～45歳の地域を盛り上げたい人。</p>
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	シャルルヴィル・メジエールしほうもんつあーじっこういいんかい		
団体名称	シャルルヴィル・メジエール市訪問ツアー実行委員会		
(ふりがな)	いちのせ こうし		
代表者氏名	一ノ瀬 孝司		
設立年月日	平成30年12月20日		
ホームページ			
活動内容	<p>H30.12.20 シャルルヴィル・メジエール市訪問ツアー実行委員会立ち上げ R1.9.3 シャルルヴィル・メジエール市訪問ツアー参加者結団式 R1.9.23 シャルルヴィル・メジエール市訪問ツアー出発 R1.9.26 シャルルヴィル・メジエール市訪問 市長表敬訪問 ノートルダム小学校訪問 飯田通り見学 フォンティエヌ中学校訪問 日本の間開所式参加 R1.9.30 帰国 R1.12.3 龍江小学校にて全校児童を対象に報告会を開催 ノートルダム小学校児童からのメッセージを渡す。 現在がコロナ禍の中、活動ができていないが、コロナに負けずお互いに頑張ろうという気持ちを伝えるため、龍江小学校児童の応援メッセージを作成し、翻訳作業中である。</p>  		
PRしたいこと	<p>龍江小学校とノートルダム小学校との交流を支援しています。 これから、交流が続くことを願っています。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	なし		
困っていること	コロナ禍において、次回の訪問計画が立てられない。 フランスの情報がなかなか収集できない。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	きょうほくまちづくりいいんかい		
名 称	橋北まちづくり委員会		
(ふりがな)	ふじもと まさる		
代表者氏名	会長 藤本 勝		
ホームページ			
メールアドレス	kyouhoku@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「誰もが安心して暮らせる 春草を生んだ歴史と文化の香り高い きらめくまち 橋北」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ここで子どもを育てたい」魅力的な橋北 ○次世代が希望をもてる橋北 ○福祉が充実し、支えあいができ、幸せを感じることができる豊かな橋北 ○歩きたくなるまちなみ、人のつながり夢のある橋北 ○歴史と文化に誇りと愛着を持てる橋北 ○落ち着いた清らかな橋北 ○災害に強い安全安心な橋北 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○橋北地区基本構想・基本計画の策定 基本構想策定委員85名が7つの分科会に分かれ、2019年度～2028年度までの10年間の橋北地区のあり方について検討を重ね、基本構想・基本計画を策定しました。 令和元年5月、基本構想・基本計画推進委員会が立ち上がり、掲げた目標に向かって、7つの分科会の活動が始まりました。</p> <p>○橋北記憶遺産の継承事業(まるごと博物館研究会) 橋北地区の三大災害(飯田大火・内山煙火工場爆発事故・三六災害)の体験者の声を後世に残し、災害の体験から学ぶ事業を行いました。(体験談・記録集の作成、三六災害から学ぶ防災学習会およびフィールドワークを実施)</p> <p>○北斗のまち・イルミネーションフェスタの開催 平成21年に、旧飯田測候所を活用し多くの人にもっと知ってもらいたいとの思いで始まったこのイルミネーションフェスタも、今では冬の風物詩の一つとなりました。 今年度はコロナ禍の中、飾付の範囲を例年より若干縮小し、橋北まちづくり委員会、橋北面白倶楽部を中心に、創意工夫を重ね、11月中頃より準備。コロナウイルスと日々闘っている医療従事者の皆様へのメッセージを表現するなど、気持ちのこもった飾付となりました。 測風塔から流れ落ちる光の束や工夫を凝らしたオリジナルのイルミネーションとやさしいオルゴールの音色で、冬の夜を彩り、12月19日から1月8日までの開催期間に、延4,000人以上の来場者が光と音の織りなす世界を楽しみました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>基本構想・基本計画推進委員会全体会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>橋北イルミネーションフェスタ2020</p> </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ○旧飯田測候所の利活用 ○菱田春草生誕地公園の維持管理・活用 ○歴史的建造物の保存活用 ○空き家の利活用 		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容 ・ 条件	<ul style="list-style-type: none"> ○菱田春草生誕地公園の維持管理・活用 ○空き家の利活用 ○イルミネーションフェスタ飾りつけ

(ふりがな)	きょうなんまちづくりいいんかい		
名 称	橋南まちづくり委員会		
(ふりがな)	たけうち ふみたか		
代表者氏名	会長 竹内 文隆		
ホームページ			
メールアドレス	kyounan.machi@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>① 歩いて暮らせる街 ～市街地の魅力でチャレンジできる街をめざして～</p> <p>② 人と人のつながりが強い街 ～自治の力で誰もが暮らしやすい街をめざして～</p> <p>③ 伝統と文化の中心地 ～彩り豊かな城下町とりんご並木の街をめざして～</p> <p>④ まちづくり委員会の活性化と総合力の発揮</p> <p>⑤ 環境にやさしいまちづくりの形成</p> <p>⑥ 地育力の醸成</p> <p>⑦ 道路・河川等の環境整備</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域一体となった諸行事への協力体制 橋南夏まつり、文化祭、ほか ○ 防災組織体制の強化と計画的な防災用具の整備 ○ 街頭防犯カメラ設置の推進と防火・防犯巡回 ○ ラベンダーの維持管理 ○ りんご並木の維持管理と周辺の活性化 りんご並木後援会、収穫祭、周辺清掃など ○ 地育力の醸成と伝統芸能文化の継承活動 夏休み子ども教室や放課後子ども教室、児童クラブ等を活用し、地域の伝統芸能の継承と、地域への愛着を育む (松一獅子舞子ども教室、天龍太鼓子ども教室、おひまち) 		
			
	小中学生のりんご並木作		豊橋技術科学大学のまちづくり発表
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	はばまちづくりいいんかい			
名 称	羽場まちづくり委員会			
(ふりがな)	しのだ のぶひで			
代表者氏名	会長 篠田 信秀			
ホームページ				
メールアドレス	habamachi@gmail.com			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>安全安心で住みよい羽場地区</p> <p>羽場地区まちづくり基本構想・基本計画「羽場の未来構想」を平成27年3月に策定し、2015年度から2027年度までの重点施策を具現化する各種事業を進めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然と伝統文化を守り育てる羽場 2. あいさつと交流で笑顔あふれる羽場 3. 命を大切にする住みよいまち羽場 4. 女性が輝くまち羽場 5. ワクワク体験いっぱいの羽場公民館 6. 清潔で花あふれる羽場 7. 羽場地区土地利用計画の充実 <p>○現在は、特に令和2年4月に立ち上げた「猿庫の泉愛護会」(猿庫の泉保存会・曙友会・羽場まちづくり委員会)を中心に、長い歴史をもつ猿庫の泉の保全・活用に取組んでいます。</p>			
重点事業又は特徴ある事業や活動	 <p>猿庫の泉 野点</p>	 <p>サル去れ警備隊(有害鳥獣対策)</p>	 <p>地震防災訓練(避難所開設)</p>	 <p>羽場セントラルパーク愛護会</p>
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>「猿庫の泉」の保全・活用について、地元企業・関係団体・住民・小中学生・地区外の関心ある方々と共に取組みたい。</p> <p>地元企業、市民団体、小中学校と協働して、主要幹線のポイ捨て防止啓発活動やゴミ拾いに取り組む。</p>			
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	<p>「猿庫の泉」周辺整備などについて、ご協力いただける方はご連絡ください。</p> <p>「環境美化重点区域」の指定を目指し、公園はじめ飯田南木曾線、羽場大瀬木線など、ポイ捨て等防止にご協力ください。</p>	

(ふりがな)	まるやま まちづくりいいんかい		
名 称	丸山まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう おざわ のぶよし		
代表者氏名	会長 小澤 伸好		
ホームページ			
メールアドレス	machi-maruyama@aq.wakwak.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「風越山とともに 住み続けたい自然豊かなまち 丸山」(2015～2024年度)</p> <p>自主・自立の精神の下、丸山地域自治区住民の参加により、住民一人ひとりが豊かさを実感できる、安心・安全で潤いのある地域づくりを進める。</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>◎リニア時代を見据えた丸山地区の10年後を想定した計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域振興【インフラ整備の促進と地域資源を活用した安心安全な地域づくり】 2 健康づくり・地域福祉【子どもの声が響き合う、長寿社会の構築】 3 生活安全【交通安全、防火、防犯対策による安心して暮らせる丸山】 4 環境保全【みんなで守り育てる自然豊かな美しいまち丸山】 5 公民館【より多くの人が集う「公民館」づくりに向けて】 6 自主防災【自分の命は自分で守る・自分たちの地域は自分たちで守る】 <p>◎計画に基づき各種事業を実施(R2年度の主な取り組み)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 未来へつなぐ 風越山麓わくわくプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマザクラ・カラナデシコ・ベニマンサク育苗 ・風越山夕源平山林整備 ・森林体験等のイベント企画・実施(ツリークライミング) ・交流人口増に向けた学習会、研究会の開催 ・主に登山客を対象としたブルーベリー狩りに向けた環境整備 ・風越山の環境保全のための携帯トイレ普及啓発 2 防災訓練の実施(避難所開設訓練の実施) 		
			
	携帯トイレ普及啓発活		ツリークライミン
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	ブルーベリー圃場整備 風越山夕源平山林整備

(ふりがな)	ひがしのまちづくりかいぎ		
名 称	東野まちづくり会議		
(ふりがな)	おおば たかし		
代表者氏名	大場 孝		
ホームページ			
メールアドレス	higashinokaigi@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	「桜並木を大切に、歴史と伝統を守る、人にやさしいまち」をめざします。		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○東野地区基本構想・基本計画の推進 東野地区では、2017年度に「東野地区基本構想・基本計画」を策定しました。本計画を着実に推進するため、「基本構想推進委員会」を立ち上げ7つの部会が中心となりさまざまな事業を実施しています。各部会で計画したテーマ(めざすべき姿・目標)について、「推進リーダー会議」や「まちづくり会議幹事会」において、進捗状況を四半期ごとに検証し、次年度への取り組みに繋げています。</p> <p>○大宮通り桜まつり・桜並木イルミネーション 東野地区のシンボルである桜並木の賑わいを創出するため、大宮通り桜保存会を中心に「桜まつり」及び「桜並木イルミネーション」を実施しています。今年は残念ながら「桜まつり」及び「桜並木ライトアップ」は中止となりましたが、12月に行う「桜並木のイルミネーション」は、今年で5回目を迎え、今年は装いも新たに、市長のカウンタダウンを皮切りに12月12日(土)から1月30日(土)まで点灯いたしました。</p> <p>○寺子屋「ひがしの」 地域内での社会体験を通して地域に関心を持ち、地元へ愛着や誇りを持つ子どもの育成、地域の大人との交流を通して顔の見える関係づくりなどを目的に東野地区基本構想の担当部会と公民館等が連携し寺子屋「ひがしの」を開催しました。今年は、子どもたちの春休み期間中及び夏休み期間中に実施し、多くの子どもが参加しました。</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	4月初旬に開催する「大宮通り桜まつり」のスタッフ



第6部会
わくわく
LADY'SDAY



寺子屋「ひがしの」



(ふりがな)	ごこうじちいきじちかい		
名 称	座光寺地域自治会		
(ふりがな)	ふくた とみひろ		
代表者氏名	福田 富廣		
ホームページ	http://zakoji.jp		
メールアドレス	ominosato@zakoji.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p style="text-align: center;">あなたも私も暮らしやすい 自然・歴史・文化・ものづくりが煌く新舞台「麻績の里 座光寺」 【自ら考え自ら行動するまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心通い合うコミュニティーを創造するまちづくり ・一人ひとりが地域に学び、生涯成長できるまちづくり ・自然と歴史・文化を活かし育むまちづくり ・健やかに安心して暮らせる住みよいまちづくり ・地域特性を活かした元気な産業のまちづくり ・人と自然に優しいインフラ整備 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○地域住民参画のもと策定した、第2次基本構想・基本計画がスタート (H29.4～H41.3)</p> <p>○長期的な視野に立った取組を行うために、有志で結成する特別委員会を設置 ・麻績の里振興委員会 ・水辺の広場委員会 ・麻績の里ふるさと応援倶楽部 ・歴史に学び地域をたずねる会 ・パノラマファーム大門</p> <p>○リニア中央新幹線に備えるために策定した「リニアを見据えた地域づくりの基本方針」を踏まえて、整備に係る具体的対策組織として「リニア地域づくり推進会議」を設置し、リニア・SIC・アクセス道路・国道153号北改良等の課題に対応</p> <p>○国史跡「恒川官衙遺跡」をはじめ、数ある歴史文化を活かして、市民の憩いの場や都市との交流と学習の拠点としてまちづくりを推進するために協議・活動する組織として、「2000年浪漫の郷委員会」を設置</p> <p>○都市と農村交流による新たな価値観の創造を目的とした、渋谷区との交流事業の推進、渋谷区へのリンゴの植樹・管理、渋谷区からの自然体験ツアーの受け入れ、渋谷くみん祭への参加、渋谷・座光寺～絆～シードルプロジェクト『渋谷と座光寺のりんごでシードルをつくろう!!』</p> <p>○地域への愛着心を育むため、自然や地域の資源を活用した体験学習への取組強化 また、地域の情報発信を効果的に行う住民主体のホームページの運営</p>		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>渋谷りんごパーク（座光寺大門原）</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>建設が進む座光寺スマートIC</p>  </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容 ・ 条件	

(ふりがな)	まつおちくまちづくりいいんかい		
名 称	松尾地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	みやざわ なおと		
代表者氏名	会長 宮澤 直人		
ホームページ			
メールアドレス	matuo@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>○第3次松尾地区基本構想 まとまりつながりおもいやり 笑顔あふれるまち やらまいか松尾</p> <p>○松尾地区のまちづくり 重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あなたと一緒に作る私たちのまち ・安全でゆとりある生活空間の創出 ・鳩ヶ嶺八幡宮や天竜川を活かした新たな交流の促進 ・豊かで自然と共存しきれいですみやすいまち ・人と人がつながり心身ともに健康なあたたかいまち 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○鳩ヶ嶺八幡宮紅葉ライトアップ 平成23年度から継続して開催。八幡宮を中心とした地域の活性化、住民の郷土意識や地区の一体感の醸成、人づくりを目的として11月初旬から中旬に実施。期間の最終日には、笛コンサートなどの催事を行った。</p> <p>○学校支援ボランティア(松尾小学校への支援) 松尾を良く知り、専門的な技術等をお持ちの方が、小学校クラブ活動を指導。</p> <p>○グリーンベルトの保全 松尾西部の段丘にあるグリーンベルト(緑地帯)の保全活動。26年度から飯田市の里山保全事業を導入し、間伐等を実施。</p>		
			
	紅葉ライトアップ・笛コンサート		学校支援ボランティア
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	有り	内容・条件	グリーンベルト(段丘崖の緑地帯)保全活動の実施(竹林伐採、間伐等)

(ふりがな)	しもひさかたちくまちづくりいいんかい		
名 称	下久堅地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう まきうち ひでゆき		
代表者氏名	会 長 牧内 秀幸		
ホームページ	http://www.shimohisakata.com(下久堅地区まちづくり委員会)		
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>第9次下久堅地区基本構想(H30.3月 策定) 「自然も人も輝ける里 ひさかた」 2018年度～2022年度</p> <p>①みんなでにぎわい、心豊かな里づくり ②地域の絆を深め、安全・安心に暮らせる里づくり ③誰もが心豊かに暮らせる健康・福祉の里づくり ④いきいきとした人と自然の調和する里づくり ⑤地域に愛着と誇りがもてる、心豊かな教育・文化の香る里づくり</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>(1)桜色に染まる里づくり 地域の団体や下久堅小児童等の協力で樹齢700年といわれる「梶曲輪の桜」の保全を行っている。さらに小学生が梶曲輪の桜の種を拾い、育てた苗を卒業の記念樹として各家庭に贈呈している。</p> <p>(2)ひさかた和紙の保存・継承 ひさかた和紙保存会と小学生が地元で栽培した和紙の原料を使用して、卒業証書作りに取り組んでいる。また、今年度は遊休農地を借りて、和紙の原料となる楮の畑を新たに整備した。</p> <p>(3)地域ぐるみで子育て支援 児童クラブ・放課後子ども教室などによる子育て支援にあたり、保護者・住民ボランティアが参加・協力している。また、「地域は大きな教室」をモットーに平成26年度から下久堅子ども応援隊が活動中。</p> <p>(4)道路整備 リニア・三遠南信自動車道の高速交通網に対応すべく、国道256号下久堅バイパス、(主)飯田富山佐久間線などの地区内幹線道路網整備に向けて取り組んでいる。</p>		
			
	遊休農地を借りて、新たに楮畑を整備		小学生による桜の種まき
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	(1)ひさかた和紙の保存・継承活動 (2)UIターン者の定住を支援するための住宅や農業技術支援者等の確保		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	・ひさかた和紙の活動への協力 ・放課後子ども教室のボランティアスタッフ

(ふりがな)	かみひさかたちくまちづくりいいんかい		
名 称	上久堅地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	きたざわ やすみ		
代表者氏名	会長 北沢 保美		
ホームページ	http://kamihisakata.net (上久堅地区まちづくり委員会)		
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>〈目指すまちの将来像〉 未来をひらく 人と人が支え合う 元気な上久堅</p> <p>〈目指すまちの将来像に向けて〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しい自然と共に 安心して住み続ける まちづくり ・支えあい見守りあい 健康に暮らせる まちづくり ・日頃から防災意識を高め 互いに協力し合う まちづくり ・熱意と創意で協力し 地域の発展を進める まちづくり ・自然や文化を基底にした 学習と交流が展開される まちづくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>1 令和2年度 重点事業</p> <ol style="list-style-type: none"> ①基本構想・基本計画の推進2年目 基本構想・基本計画の実現に向けた活動を実施。 ②空き家対策について特別委員会を設置し活動開始 基本構想でも重点課題としている、空き家対策について実施に向けた検討を行い、本年度から、特別委員会を設けて活動を実施しました。 ③上久堅地区土地利用計画策定 基本構想・基本計画を土地利用の側面から検討し、基本構想・基本計画を補完する計画として策定しました。 ④屋外広告物の不要看板について撤去・改修を開始 まちづくり委員会が設置した屋外広告物について、順次撤去、改修を進めるよう本年度から始めました。 <p>2 特徴的な活動</p> <ol style="list-style-type: none"> ①高齢者健康対策事業:「食工房 十三の里」による高齢者向け配食サービス支援 ②JA上久堅給油所給油補助制度:給油所存続延長のため給油に対して支援 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>土地利用計画表</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>空き家対策特別委員会活動</p>  </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	地区の活性化、振興に関すること		
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容 ・ 条件	

(ふりがな)	ちよちくまちづくりいいんかい		
名 称	千代地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	せきぐち としひろ		
代表者氏名	会長 関口 俊博		
ホームページ	http://chiyo-x.jp		
メールアドレス	chiyomachidukuri@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p><めざす地域の姿・将来像></p> <ol style="list-style-type: none"> そこに住む人々が、心豊かに生き生きと暮らせる地域 特有の魅力が醸し出され、地区内外の多くの人々による交流が活発な地域 地域の力を結集して支え合い、前へ向かって歩もうとする活力に満ちた社会 <p><地域づくり 5つの重点目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 安全、快適、便利そしてエコな地域づくり(生活基盤・環境) 交流による活力で地域をつくる(産業振興) ふれあい、思いやり、支え合う地域づくり(福祉・健康) 歴史と伝統のもと、風土に調和した文化を発展させよう(地域文化) 地区のあり方、進め方を地域で考え実践する「地域力」を高めよう 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<ol style="list-style-type: none"> 令和2年度重点事業 <ol style="list-style-type: none"> ①定住促進の取組 ②地域内観光の振興と推進 ③減災・防災の取組 ④千代地区基本構想(第4次)の策定 特徴的な活動 <ol style="list-style-type: none"> ①日本の棚田百選「よこね田んぼ」の保全活動、ブランド化の推進 ②地域で設立した社会福祉法人と連携した子育て支援、高齢者福祉の取組 ③グリーンツーリズムの推進 ④地域で立ち上げたNPO法人と連携した取組 <p style="text-align: center;">よこね田んぼの保全活動 万古溪谷栃の木ツアー</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	「よこね田んぼ」保全活動の協働や助言、支援		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容 ・ 条件	「よこね田んぼ」保全作業(草刈り・田植え・稲刈り等)

(ふりがな)	龍江地域づくり委員会		
名 称	龍江地域づくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう きのした ひろし		
代表者氏名	会長 木下 博史		
ホームページ	www.tatue.jp/		
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>第3次龍江21構想 だれもが住みたい地域 “みんなで創る 豊かで元気な 住みよい龍江”</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人が行き交う和の地域づくり「憩 2 便利で豊で住みよい地域づくり「豊」 3 健康で生き活きと暮らせる地域づくり「活」 4 安全で安心して快適に暮らせる地域づくり「安」 5 思いやりを持って支え合う地域づくり「絆」 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>1、農村起業家育成スクール開講協力 ・昨年に引き続き、市主催によるSCを、曾根原久司氏を講師に開講。 ・中山間地の特性を生かし、各自農村の資源を生かしたビジネスモデルを策定している。 ・3年2月27日には、各自事業計画をまとめ発表会を開催。</p> <p>2、シャルルビル・メジュール市交流 ・平成30年8月の「シャルルビル・メジュール通り」命名の答礼として、去年は訪問団を組織してシャルルビルメジュール市を訪問した。 ・本年度は、現地のノートルダム小学校と、龍江小学校の児童たちの交流を継続し、運動会の様子を収めたビデオレターと応援メッセージを送るため翻訳作業中。</p> <p>3、南信州龍江アウトドアフェスの開催 ・三遠南信自動車道という新たな資源を活かした地域振興へのシフトを模索しており、名勝天龍峡を中心とした南信州地域の新たな観光資源として、アウトドアアクティビティを楽しむことができる地域への挑戦を始めた。 ・令和2年11月14日にはアウトドアアクティビティ体験会を開催し、県内外から集客した。 ・令和3年3月8日には、三遠南信道開通を記念し、事業の報告会を兼ねたシンポジウムを龍江公民にて開催予定。</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	アウトドアレジャー体験会の企画・運営		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	アウトドアレジャー体験会の企画・運営に携わってもらえる、意欲ある方を望む



(ふりがな)	たつおかちいきじちかい		
名 称	竜丘地域自治会		
(ふりがな)	しもだいら かつひろ		
代表者氏名	下平 勝熙		
ホームページ	http://tatsuoka.nagano.jp		
メールアドレス	tatuoka@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>・竜丘地区基本構想(2014年度～2030年度)の将来像「ロマン溢れる学びの丘 共生のまちづくり」を実現するための7つの「丘づくり」</p> <p>①住民の支え合いによる丘づくり ②地域資源の保全・活用、景観形成による丘づくり ③災害予防活動と豊かな人間関係による丘づくり ④歴史文化の活用で人材育成を進める丘づくり ⑤地域産業の振興と地域ぐるみ支援による丘づくり ⑥秩序ある適正な土地利用による丘づくり ⑦地域力の強化による丘づくり</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>・基本構想を実現するための戦略として、「景観・環境」及び「教育文化」分野に重点的に取り組み、短期的、中・長期的な重点事業を実施することで「環境・文化地区」を目指している。</p> <p>【天竜川鷲流峡復活プロジェクト事業】 「地域ぐるみによる不法投棄対策と景観美化活動の促進」を施策として位置づけ、名勝鷲流峡周辺の不法投棄をなくすため、自治会と事業者である信南交通(株)天竜舟下り事業部と連携しプロジェクトを立ち上げた。 竹林伐採・維持管理作業等による景観保全に努めながら、環境・教育・産業・次世代交流(後継者育成)という視点で活動している。 主な活動は次のとおり 竹林伐採・維持管理、天竜いなちく(国産メンマ)の製造・販売、竹灯籠の製作と各種イベントへの出展、ガードレール洗浄作業、しあわせ桜・紅葉のライトアップ等</p>		
	  		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	地域内外を問わず、事業者、NPO等との連携を進め、地域の課題解決に取り組んでいきたい。		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	竹林伐採作業・メンマづくり

(ふりがな)	かわじ まちづくりいいんかい		
名 称	川路まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう なかじま ちあき		
代表者氏名	会長 中島 千明		
ホームページ	https://kawai-machidukuri.com/		
メールアドレス	kawai-m@kawai-machidukuri.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「豊かで活力ある安全・安心な川路」の実現</p> <p>① 地域コミュニティの深化に向けて ② 川路居住憲章の啓発 ③ 子育て支援の充実 ④ 川路土地利用計画の策定 ⑤ 天龍峡観光振興と川路の農業振興 ⑥ 情報提供と住民意見の集約 ⑦ 公民館改築移転プロジェクト ⑧ 太陽光発電設置プロジェクト ⑨ まちづくり委員会プロジェクトの活性化・組織見直しとNPO化の研究</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>川路に帰ろうキャンペーン ～川路との絆づくり～</p> <p>対象： コロナ禍で帰省できない川路出身の県外在住者 内容： ふるさとのモノ + 応援メッセージ を送る 費用： 送る品物は住民が用意して、送料はまちづくり委員会が負担 今後： 送付者の住所を許可を得て保管し、今後の情報発信、ふるさと納税依頼に利用予定</p> <p>☆ GWにふるさとを送ろう！キャンペーン 期間： 4月30日～5月31日 件数： 76件 送料： 98,832円</p> <p>☆ 夏休みにふるさとのものを送ろう！キャンペーン 期間： 8月4日～9月30日 件数： 111件 送料： 139,468円</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	



(ふりがな)	やまもとちいきづくりいいんかい		
名 称	山本地域づくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう しおざわ あきお		
代表者氏名	会長 塩澤 章男		
ホームページ			
メールアドレス	yamamoto@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「美しく、心豊かに、集うさと 山本」 この言葉を旗印に、地区内外を問わず、全ての人々が楽しめる地域、住んでよかった、来てみてよかったと言われる地域を皆で創出する。</p> <p><10の地域づくり目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ○土地を活用した住みよい地域づくり ○自然が豊かで潤いのある地域づくり ○思いやり支え合う地域づくり ○安全に暮らせる地域づくり ○文化や歴史・スポーツに親しむ地域づくり ○地域自治の推進と交流の地域づくり ○拠点が整備された地域づくり ○産業の発展する地域づくり ○健康で快適な地域づくり ○ひとが育つ地域づくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【山本地区組織等見直し】 地域自治組織が発足して10年余。当時と比較し人口等が大きく変化し「人口減少と役員数の不一致」、「組合加入率の低下」、「役員の担い手が不足」といった課題が顕在化してきました。 平成30年度から今年度まで組織体制・事業内容等について見直しを行い、2021年4月に新たな組織を導入することに決定しました。</p> <p>【二ツ山市営住宅跡地分譲の募集】 二ツ山の市営住宅跡地を利用し、市と山本地域づくり委員会と協働で分譲を行っています。 今年度は新たに宅地分譲及び山本の子育ての様子を紹介したチラシを作成。クラフトフェア飯田、地区内企業や金融機関等に配布し周知に努めました。</p> <p>○区画数:残り5区画 ○区画面積: 300㎡～312㎡ ○区画価格: 約307万円～318万円 ○第15回目募集: 令和3年2月1日(月)～2月26日(金)</p>   <p>【クラフトフェア飯田への協力・連携】 今年度より、杵原学校を会場にクラフトフェア飯田が開催されることとなりました。主催はクラフトフェア飯田をつくる会ですが、山本地域づくり委員会や杵原学校応援団も協力、連携して多くの方をお迎えしました。</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容 条件	

(ふりがな)	みほまちづくりいいんかい		
名 称	三穂まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう はやしたかなり		
代表者氏名	会 長 林 高功		
ホームページ	http://iidamiho.wpblog.jp/		
メールアドレス	miho@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>自然とロマンの里 三穂 「子どもから高齢者まで 元気な声が響き渡り 活力あり 支え合い 心豊かな 人も自然も輝ける里」</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○次期基本構想・基本計画の策定 第3次となる基本構想・基本計画(2021~2030年度)の策定に向け、策定委員を約40人選出し委員会を立上げ、7つの分科会に分かれて、話し合いを行いました。</p> <p>○三穂の皆さんに元気を届けるイベント 三穂の小笠原家は弓に関して中心となる家であり、小笠原書院が竣工して4年後には、400年を迎える。そこで、令和3年1月に小笠原書院で、弓による「矢渡し」という神事を披露して厄除け祈願を行う。</p> <p>○公民館事業 コロナの影響で夏の三穂の風物詩「三穂ふれあい夏祭り」が中止となり、密にならないイベントとして「三穂打ち上げ花火」を開催した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="523 1077 850 1529" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>三穂地区基本構想 2021~2030年度 豊かな自然と伝統ある文化の郷 三穂 其のちよき自然と文化を継ぎ、みんなが誇り高い 笑顔のまちを、心よく暮らしている郷</p>  <p>三穂地区基本構想策定委員会 三穂まちづくり委員会</p> </div> <div data-bbox="1002 1070 1316 1529">  </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	いがらまちづくりきょうぎかい		
名 称	伊賀良まちづくり協議会		
(ふりがな)	みやした ひろし		
代表者氏名	宮下 博		
ホームページ			
メールアドレス	igara@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>伊賀良地区基本構想(2011～2020)「緑輝き、人と文化が行き交うまち 伊賀良」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人に自然に優しい土地利用 2 誰もが安心して暮らせる地域づくり 3 自然を大切にし「地の利」を生かした産業づくり 4 香り高い文化の創造 5 心が通い合う地域づくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【人に自然に優しい土地利用】 ～アップルロードりんご並木愛護の取組～ 中央道飯田ICのアクセス道路である国道153号バイパス、通称「アップルロード」の建設計画時に、当地区の農家の青年層からの発案で、街路樹としてりんごが植えられました。以来、35年余りにわたって、まちづくり協議会、伊賀良小学校、果樹農家など地区が一体となって管理、秋には小学生が地区民とともにりんごを収穫し、収穫祭を実施しています。</p> <p>【誰もが安心して暮らせる地域づくり】 ～自然エネルギーの有効利用～ 隣接する山本地区との統合中学校である旭ヶ丘中学校の生徒が自ら、校舎への太陽光発電施設の設置を発案し、両地区へ提案、3者で協議会を立ち上げ、市から認定を受け、平成27年度に工事が行われ、運用が開始されており、環境学習等の意識向上に役立てられています。</p> <p>【自然を大切にし「地の利」を活かした産業づくり】 ～豊かな森林資源の活用～ 当地区は西側の山地に広大な森林を有しており、「西部山麓」と呼ばれています。飯田ICに近い「地の利」を活かして、森林資源の活用を図っており、特に沢城湖周辺は、これからを考える懇談会等を実施しながら、重点課題として活用を進めます。</p> <p>【香り高い文化の創造】 ～公民館活動～ 全世代がふるさとに誇りと愛着を持って暮らせるよう、特に小学校との連携を強化しながら、小学校校歌など地域に着目した学習と交流を推進しています。</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	沢城湖周辺をはじめとした西部山麓一帯の今後の活用(指定管理など含め)		
ボランティア募集希望の有無・内容	内容 ・ 条件		



(ふりがな)	かなえちくまちづくりいいんかい		
名 称	鼎地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう やすだ かんじ		
代表者氏名	会長 安田 完爾		
ホームページ			
メールアドレス	kanae@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>【めざす将来像】 ～ 人・暮らし・文化が潤う 夢ある“かなえ” ～</p> <p>【めざすまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> I 10地区の魅力を生かし活力あるまちづくり II 誰もが豊かな心を持ち健康で生きがいを持てるまちづくり III みんなが支え合い安心して暮らせるまちづくり IV 景観と調和する潤いと快適なまちづくり V 明日のかなえを創る子どもを育むまちづくり VI 産業の振興と自然を活かしたまちづくり VII 地域に学び人と文化が輝くまちづくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○ 鼎地区パワーアップ事業 鼎地区では、特色ある地域づくりや人づくりを推進するため、地区独自の『パワーアップ事業』を実施し、自主グループの活動や事業、まちづくり委員会で実施しがたい事業などに毎年助成を行っています。令和2年度は11団体に約170万円を助成する予定です。</p> <p>○ 世代間交流、子どもの居場所づくり・体験事業 鼎各地区に伝わる獅子舞などの伝統芸能を継承するとともに、世代間交流や体験学習の取組みを進めています。また、夏休み、春休みに、「宿題やらまい会(上山区)」、「稲井学校(名古熊区)」、「一色塾(一色区)」と題して、子どもの居場所づくりを実施しています。</p> <p>○ 公民館事業 鼎公民館では子育て世代や子どもを対象とした事業に重点的に取り組むと共に、生涯学習事業や鼎全体で取り組む事業等、多彩な活動を行っています。また、体育や文化事業を通じて地域の活性化に努めています。小学生親子を対象とした「ずんずんず～ん隊」では、下伊那農業高校と連携し、農作物の栽培から加工を行い、小・中・高校生と大人が関わり合い学び合う機会として実施しています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>芋ほり体験(世代間交流)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大豆の加工・料理教室(ずんずんず～ん隊)</p> </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	内容 ・ 条件		

(ふりがな)	かみさとちいきまちづくりいいんかい		
名 称	上郷地域まちづくり委員会		
(ふりがな)	いわさき もりつね		
代表者氏名	岩崎 守倫		
ホームページ			
メールアドレス	kamisato@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「地域で育み支え合う 個性と魅力を生かした 活力ある未来を切り開く 新たな上郷地域の創造と挑戦」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域全体の結束力と住民自治の組織力向上の郷づくり ・活力に満ちた健康づくりの郷づくり ・地域で育み地域で支え合う福祉の郷づくり ・組織的な災害対応と安心安全で快適な郷づくり ・リニア時代を見据えた郷づくり ・地域を支える人づくりと文化を尊ぶ郷づくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○リニア中央新幹線本体工事は経験のない大規模事業に対し、コミュニティを維持した移転対応、地域コミュニティの場の整備、及び最大限の生活環境保全への配慮等について、地域住民に真に寄り添った対応を関係機関に求めるとともに地域全体の将来を展望し対応します。</p> <p>○上郷地域全体の土地利用や景観について、適正な用途地域の指定や見直し等必要な検討を進めてきました。国道153号北改良の事業の進捗に伴い、適宜必要な検討を進めるとともに、現在運用している上郷地域の独自ルールの定着を図ります。</p> <p>○野底山森林公園の管理運営は、リニア時代を見据えた地域密着型の公園づくりに向け管理棟を拠点に関係者が役割を分担し連携して進めるとともに、リニア時代を見据えた活用に向けて各事業を推進します。</p> <p>○各地区まちづくり委員会組合加入に向けて、加入しやすい環境の整備を検討するとともに、全員参加で生まれる理想の地域づくりを進めます。</p> <p>○地域内にある児童館等の学童保育施設の老朽化や利用状況を把握し、関係機関に改善に向けた必要な働きかけをします。</p> <p>○上郷地域基本構想・基本計画に掲げる将来像の実現のため、取組の進行管理に当たっては基本構想・基本計画推進会議がその役割を果たします。</p>		
			
	リニア駅周辺整備イメージ		野底山森林公園環境整備
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容・条件	

(ふりがな)	みなみしなのまちづくりいいんかい		
名 称	南信濃まちづくり委員会		
(ふりがな)	まきしま さだよし		
代表者氏名	牧島 定好		
ホームページ			
メールアドレス	minamisoumu@city.iida.lg.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>○住み続けたい、住んで楽しい郷づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住む人が輝き、にぎやかな遠山郷 ・安心安全に暮らせるまち 地域内の助け合い ・交流人口、関係人口の拡大を移住定住へつなげる ・三遠南信自動車道の開通を見据え、人を呼び込む取り組みを実施 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<ul style="list-style-type: none"> ・移送サービスの開始に向けた準備(地域福祉プロジェクト) ・若者等が住み続けられる支援(地域格差、負担の軽減) ・移住定住に特化した体制づくり及び「南信濃1500委員会」の活動を開始 ・地域の課題や将来をみんなで考える(遠山未来フォーラム) ・学校と地域が連携した地域人教育の推進 「和田宿にぎやかし隊」との連携 和田の寺子屋ほか ・南信州の新たな玄関口の整備 「遠山郷花街道事業」への取り組み(関係団体との横連携) ・地域振興の拠点施設「かぐらの湯」の完全なる復活に向けた検証と協議 ・ゲストハウス「太陽堂」、シェアハウスの活動支援、協力 ・地域おこし協力隊・山暮らしカンパニーほか若者グループ活動への支援と協力 		
	 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等を支援対象とした移送サービス、助け合い ・生活支援サービス 		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	<ul style="list-style-type: none"> ・遠山川沿いの桜の手入れ作業、花街道整備事業による花木植栽地の維持管理作業

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん みんなのて		
団体名称	特定非営利活動法人 みんなの手		
認証年月日	平成17年 8月 19日		
(ふりがな)	おおはら たいいち		
代表者氏名	大原 泰一		
主な事務所の所在地	飯田市鼎中平1884-1		
ホームページ	www.kenwakai.or.jp		
主な活動分野	保険 医療 福祉		
活動内容	<p>高齢者を始めとする地域の多くの人達に対して移送介護サービス、ホームヘルプサービス、家族支援サービス、子育て支援サービスなどに関する事業を行い、地域福祉の向上と住みやすいまちづくりに寄与することを目的として活動しています。</p>		
PRしたいこと	<p>介護保険ではサービスを受けられない多くの方々への生活支援です。</p> <p>信頼と安心をモットーに地域福祉の向上と住みやすいまちづくりを目指して活動しています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	介護事業所、地域包括支援センター等と連携して活動していきます。		
困っていること	利用者、ボランティア共に高齢化が目立ってきました。今後の課題です。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	どなたでも
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	75歳までの方 どなたでも

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん ほんいがくせいぼうはんたいさくしえんきょうかい		
団体名称	特定非営利活動法人 飯伊学生防犯対策支援協会		
認証年月日	2006年12月21日		
(ふりがな)	いわさき まさる		
代表者氏名	岩崎 愈		
主な事務所の所在地	〒395-0041 飯田市中央通り4丁目43番地 新星ビル4階		
ホームページ			
主な活動分野	○地域安全(子どもの安全・高齢者の特殊詐欺被害防止)		
活動内容	<p>○子どもの防犯意識高揚のためのオリジナル防犯テキストの(小中学生用)作成配布</p> <p>○学校の安全対策として、防犯機器の寄贈、防犯器具の考案及び寄贈</p> <p>○防犯意識高揚のための防犯ポスター・防犯カレンダーの作成支援</p> <p>○防犯教室、防犯訓練の共同開催 通学路防犯パトロール</p> <p>○防犯意識高揚のためのDVDの作成並びに配布</p>		
	 <p style="text-align: center;">防犯テキストの寄贈</p>		
	 <p style="text-align: center;">わが家の生活安全課長終了式</p>		
PRLしたいこと	<p>○子ども達を犯罪から守るためには、子ども達に対する防犯教育徹底するとともに、子ども達自らが「自分の身体は、自分で守る」ことが最も大切であると考え、「イカのおすし」の普及に努めている</p> <p>○高齢者が自分の財産は自分で守り、特殊詐欺被害にあわないための「イカのおすしと5つの約束」の普及に努めている</p>		
	 <p style="text-align: center;">防犯ポスターコンクール表彰式</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>○子ども達を守る各種地域ボランティア団体等との連携・協力</p> <p>○高齢者が特殊詐欺被害に遭わないための各種ボランティア団体等との連携・協力</p>		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	条件等		
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	条件等		

(ふりがな)	ななわのかい		
団体名称	特定非営利活動法人 七和の会		
認証年月日	平成20年 1月 22 日		
(ふりがな)	クマガイ ヒデオ		
代表者氏名	熊谷 秀男		
主な事務所の所在地	飯田市龍江8810番地4		
ホームページ			
主な活動分野	・地域住民の福祉増進・不動産の有効利用による地域活性化・地域資源の掘り起こしによる、地域振興・会員相互の連携		
活動内容	<p>○よりあい処「ほたる」の運営(地域住民交流の場) 毎週土曜日飲食店を営業</p> <p>○第13回ほたる祭り コロナで中止しました</p> <p>○第13回きのご祭りの開催 令和2年10月18日(日)</p> <p>○農産物直売所の運営 毎週日曜日営業</p> <p>○桜街道桜祭りに野菜・よもぎおやきの出張販売</p> <p>○天龍峡カボチャマルシェにきのご・野菜の販売</p> <p>◎ほたる祭りでのいか焼き・フランク・焼鳥提供⇒</p>		
PRLしたいこと	<p>○27年オープンしたよりあい処『ほたる』の運営・毎週土曜日に飲食店を営業しております・地域住民の憩いの場として人気です。毎月第3週には落語の会「ほたる寄席」開催しております。</p> <p>○3年度もほたる祭り・きのご祭りを開催いたします。多くの皆様のご参加を期待しております。</p> <p>○産直事業は「産直の店ふれあい七和館」と称して毎週日曜日に開店しております。地域の主婦を主体に新鮮な野菜類の販売を続けております。是非一度ご利用を！</p> <p>◎さくら祭り夜桜ツアーにおでん・焼鳥提供⇒</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	ほたる祭りは平成24年度から龍江4(区地域づくり委員会と共催しています。(今年度は中止)		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	



(ふりがな)	みなみしんしゅう バイコロジー きょうかい		
団体名称	NPO法人 南信州バイコロジー協会		
認証年月日	平成22年 1月 5日		
(ふりがな)	くまがい ひでお		
代表者氏名	熊谷 秀男		
主な事務所の所在地	飯田市龍江8558-1		
ホームページ	南信州バイコロジー協会検索可能		
主な活動分野	サイクルイベントの実施		
活動内容	新型コロナウイルス感染症の影響で、計画した活動がすべて取りやめとなりました。		
PRLしたいこと	自転車を活用したスポーツ振興や地域振興策を模索しています		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん かわじぐりーんかるチャー		
団体名称	特定非営利活動法人 川路グリーンカルチャー		
認証年月日	H24年 3月21日		
(ふりがな)	せきや とうきち		
代表者氏名	関谷 藤吉		
主な事務所の所在地	飯田市川路4880-2		
ホームページ			
主な活動分野	5 環境		
活動内容	<p>飯田市川路地域を中心に、住民、企業あるいは各種団体に対して、環境保全に関する事業を行い、人の営みと自然環境が調和した美しい地域づくりに寄与することを目的とする</p> <p>①除草、除伐による景観形成、環境保全事業 ②緑化による景観形成、環境保全事業 ③農業をはじめとする地域産業を支援する事業</p>		
PRしたいこと	飯田市川路地域を中心に、除草、除伐作業を受けます(お見積もり可能) 作業を実施する会員を募集します		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん おしゃべりサラダ		
団体名称	特定非営利活動法人 おしゃべりサラダ		
認証年月日	2016年 3月 1日		
(ふりがな)	まつむら ゆみこ		
代表者氏名	松村 由美子		
主な事務所の所在地	飯田市追手町2丁目630-8		
ホームページ	nposalad.com		
主な活動分野	1.2.3.8.10.11		
活動内容	<p>1. 地域子育て支援拠点事業 (厚生労働省が勧める子育て支援の活動「つどいの広場」事業の運営) ◆「子育てサロンおしゃべりサラダ」、出張ひろば「おしゃべりポトフ」、そして指定管理者として「座光寺つどいの広場」を運営しています。妊婦さんから未就園児を持つご家庭に親子の居場所として利用していただけます。遊んだり、おしゃべりしたり…子育て講習会やお楽しみ会、子育て情報もあり、子育てアドバイザーに相談ができます。「Baby&妊婦さんDay(毎月第2土曜日)」には助産師が常駐しています。</p> <p>◆訪問活動「てとて」 妊娠期の不安、授乳や赤ちゃんがいる生活での不安等、家庭で孤独になりがちなママの不安を和らげるお手伝いとして、子育てアドバイザーや助産師がご自宅にお伺いします。お気軽にご連絡ください。</p> <p>2. 集団託児事業 イベントや行事時に集団託児をお引き受けします。ご家族が安心して行事に参加でき、お子さんも安心して楽しい時間が過ごせるよう、託児サポーターがお預かりします。</p>		
PRLしたいこと	<p>ママ仲間で「いつでも行ける親子の居場所があつたらいいね」とH14年に始めた「子育てサロンおしゃべりサラダ」の活動は、長年任意の民間団体として活動を続けましたが、2016年3月「NPO法人おしゃべりサラダ」として再スタートしました。親子を迎えるスタッフは子育て中のママでもあり当事者目線を持ちながら、みんなの子育てを応援し活動しています。子育てが、ひとりだけで頑張る「孤育て」にならないよう、みんなで手と眼と心をかけあって、親子ともに育ちあえることを願っています。困った時に手を伸ばせば、手を添えてくれる人がいる安心、そして今度はあなたがその手を握ってあげる人に！そんな子育てを結いのまち飯田で一緒にしたいですね。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	小学生・中学生・高齢者、地域の方々との交流		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	子育てを応援し、活動を応援して下さる賛助会員を募集しています。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	子育て家庭を温かく見守り、親子に楽しく関わってみたいという方 託児サポーターをしていただける方 庭の整備(草取り、剪定、雪かき等)のお手伝いをして下さる方



(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじんみなみしんしゅうさんときょうどうしゃちゅう		
団体名称	特定非営利活動法人南信州山都共同社中		
認証年月日	平成30年 4月 25日		
(ふりがな)	わたなべよしぞう		
代表者氏名	渡邊嘉藏		
主な事務所の所在地	飯田市今宮町4丁目5606番地2		
ホームページ	改修中(www.npo-mccpt.or.jp)		
主な活動分野	地域づくり		
活動内容	<p>1. 都市との戦略的互惠関係構築による南信州地域の一体的な持続可能性の向上</p> <p>① 自信と誇りの持てる農業の再構築事業 中山間地域等の農家をネットワークし、多様な主体と共同して、高付加価値で特色ある農産物の生産・販売を試みている。令和2年度はコロナのために対外的活動が著しく制限された。</p> <p>② 一村一企業ダーチャ運動 「農」を舞台に企業に活動の場を提供し、地域との連携を図る。令和2年度は、同じくコロナのために企業とのコンタクトが取れず、プレゼン資料作成等を行った。</p> <p>③ 子ども達の生きる力を育む地域づくり 子どもの成長と自然環境や体験の関係性を明確にするため、引き続いてIKR測定を行った。</p> <p>2. 自治体と連携した人財育成事業を通じた地域づくりの支援 南信州地域3町村と連携し、当該町村の職員及び住民を対象にした研修講座を2カ年の予定で始めた。最終的に、何らかの施策実施へと結びつけたい。 ※写真は、職員研修講座及び住民研修講座の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
PRしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の自治体や地域の個性を活かしつつ、南信州地域の一体的な持続可能性の向上に寄与しようと考えている。 ・都市と対等な互惠関係(お互いが抱える課題の解決を南信州を舞台にして取り組む)を目指している。そのため、NPO設立メンバーの半分は県外の方。 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・行政も含めた多様な主体との共同を進めたい。 		
困っていること	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の強化 		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	・趣旨に賛同していただけること
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

人と人が手をつないで活動の輪を広げていきます。そしてリンゴの形の輪に「多様な主体の協働によるまちづくり」の精神を込め、ムトス飯田のロゴマークをデザインしていきます。

ムトス飯田ロゴマーク

～「ムトス」は 地域づくりの合言葉～

ムトス飯田

多様な主体の協働によるまちづくり



ムトス飯田

飯田の語源とも言われる「結い」は、「多くの人の協力と役割分担により一つの事を成し遂げる仕組み」であり「協働」です。その前提には一人ひとりの「自立」が欠かせません。飯田のまちづくりの底流には、この長い歴史が息づいています。

●ムトスとは

「ムトス」とは、広辞苑の最末尾の言葉「んとす」を引用したもので、「…しようとする」という意味であり、行動への意志や意欲を表す言葉です。

飯田市は昭和57年「10万都市構想」において理想とする都市像の実現に向けての行動理念として「ムトス」を使用しました。平成19年4月1日施行の飯田市自治基本条例にもムトスの精神について謳われています。「ムトス」を地域づくりの合言葉に、私たち一人ひとりが持つ「愛する地域を想い、自分ができることからやってみよう」という自発的な意志や意欲により、具体的な行動で地域づくりをしていくことをめざします。

■ムトス飯田表彰事業

「ムトス飯田の精神を広めるために」という寄付を契機に、昭和60年度に創設されました。毎年、飯田の将来に向けて示唆的で主張ある活動をしている団体・個人を表彰しています。

■ムトス飯田助成事業

ムトス飯田推進委員会は、飯田市の交付金を財源に、団体や個人による独創的で波及効果のあるまちづくり活動に対して、助成をしています。

■ムトス飯田交流会・学習会

市民協働や相互連携を築くことを目的に、毎年、多くの市民や団体等に呼びかけて、実践事例や課題などを語り合う交流会（または学習会）を開催しています。

■一般社団法人

ムトス飯田市民ファンド
市内の特定非営利活動法人を対象に300万円まで「無利子の融資」（貸金業）をしています。

ムトス飯田推進委員会

〒395-8501 飯田市大久保町 2534 飯田市役所内 電話 0265-22-4511

ムトス飯田30周年記念 2015.2作成

ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう！市民協働を推進します